

西野公園便所（北）建替工事

図面目録											
図面番号	工事範囲	図面内容	図面番号	工事範囲	図面内容	図面番号	工事範囲	図面内容	図面番号	工事範囲	図面内容
A-01	建築工事図	建築工事特記仕様書No.1	A-16	建築工事図	【便所】矩計図	S-01	建築工事図	構造特記仕様書	E-01	電気設備工事図	電気設備工事 特記仕様書(1)
A-02	〃	建築工事特記仕様書No.2	A-17	〃	【便所】断面詳細図	S-02	〃	鉄筋コンクリート造配筋標準図No.1	E-02	〃	電気設備工事 特記仕様書(2)
A-03	〃	建築工事特記仕様書No.3	A-18	〃	【便所】平面詳細図、天井伏図	S-03	〃	鉄筋コンクリート造配筋標準図No.2	E-03	〃	電気設備工事 特記仕様書(3)
A-04	〃	建築工事特記仕様書No.4	A-19	〃	【便所】展開図No.1	S-04	〃	鉄筋コンクリート造配筋標準図No.3	E-04	〃	電気設備工事 特記仕様書(4)
A-05	〃	建築工事特記仕様書No.5	A-20	〃	【便所】展開図No.2	S-05	〃	鉄筋コンクリート造配筋標準図No.4	E-05	〃	全体配置図
A-06	〃	建築工事特記仕様書No.6	A-21	〃	【便所】建具符号図、建具表	S-06	〃	鉄筋コンクリート造配筋標準図No.5	E-06	〃	配置図
A-07	〃	建築工事特記仕様書No.7	A-22	〃	各部詳細図	S-07	〃	【便所1】基礎・基礎梁伏図、土間・土台伏図、基礎詳細図	E-07	〃	盤結線図、撤去図
A-08	〃	建築工事特記仕様書No.8	A-23	〃	【便所】外構図	S-08	〃	【便所】梁伏図、小屋伏図	E-08	〃	照明器具姿図
A-09	〃	建築工事特記仕様書No.9	A-24	〃	【便所】仮設図	S-09	〃	【便所】軸組図	E-09	〃	便所1 電灯設備図、コンセント設備図
A-10	〃	解体工事特記仕様書No.1	A-25	〃	【便所②】仕上表、平面図、立面図(解体)						
A-11	〃	解体工事特記仕様書No.2									
A-12	〃	全体配置図、付近見取図							M-01	機械設備工事図	機械設備 特記仕様書1
A-13	〃	配置図							M-02	〃	機械設備 特記仕様書2
A-14	〃	外部仕上表、内部仕上表 建物求積図、建物求積表、平均地盤算定根拠							M-03	〃	機械設備 器具表 機器表 樹明簿
A-15	〃	【便所】平面図、立面図、断面図							M-04	〃	便所 給排水衛生設備 外構図
									M-05	〃	便所 給排水衛生設備 平面図

工事特記仕様書		特記事項																																																																																											
<p>I 工事名 西野公園便所(北) 建替工事</p> <p>II 工事概要</p> <p>1. 工事場所 三重県亀山市野村二丁目 地内</p> <p>2. 敷地面積 65,846.84 m²</p> <p>3. 工事内容</p> <table border="1"> <tr><td>種名称</td><td>便所</td></tr> <tr><td>構造</td><td>木造 平屋建</td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>45.95 m²</td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>37.51 m²</td></tr> <tr><td>工事項目</td><td>建築工事</td></tr> </table> <p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 標準仕様</p> <p>2. 特記仕様の表記</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し、※印の付いたものは適用しない。</p> <p>○印と○印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>使用材料等で、複数の材料に○印が付いたものは図面による。</p> <p>(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(4) □印は「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める判断の基準を満たす物品を示す。</p>		種名称	便所	構造	木造 平屋建	建築面積	45.95 m ²	延床面積	37.51 m ²	工事項目	建築工事	<p>4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>5) 1)、3)及び4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>ホルムアルデヒド放散量</th> <th>該当する材料</th> </tr> <tr> <td>規制対象外</td> <td>① JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</td> </tr> <tr> <td>第三種</td> <td>① JIS及びJASの☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品</td> </tr> </table> <p>(1.4.2)</p> <p>本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。</p> <p>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること</p> <p>(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること</p> <p>(3) 安定的な供給が可能であること</p> <p>(4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること</p> <p>(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること</p> <p>(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること</p> <p>なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(社)公共建築協会等)が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価書」の評価書の写しを、監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。</p> <p>また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。</p> <p>また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとし、「みえ・グリーン購入基本指針」に基づく環境配慮を行うこと。(同指針に基づき、木材を使用する場合において、原料として使用される原木は、県産間伐材、林地残材又は小径木等とするか、又はその伐採にあつて生産された園における森林に関する法令に照らして合法な木材とすること。)</p> <p>※本工事に使用する木材は、原則として亀山市内の森林から産出された「地域材」を使用し、調達できない場合は県産材、国産材の順に利用するものとする。</p> <p>なお、県産材については「三重の木」利用促進協議会が承認する「三重の木」を優先して使用する。</p> <p>(1.5.2)</p> <p>※職種別に可能なものについては積極的に活用すること。</p> <p>(1.5.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>ステレン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>学校、教育施設</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>住宅</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>※測定箇所(※ 図示)</p> <p>※測定方法(※ バツシツ法 ・ アクティブ法)</p> <p>※試料は、内装工完了から2週間以上の通風換気を行い、また、換気行いながら空気を調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了してから採取することとし、困難な場合は監督職員協議すること。</p> <p>※報告書提出部数 2部</p> <p>11 特別な材料の工法</p> <p>⑩ リサイクル認定製品の利用</p> <p>⑪ 施工中の安全管理</p> <p>⑫ 騒音・振動の防止</p> <p>⑬ 排出ガス対策 建設機械の使用</p> <p>⑭ 工事写真</p> <p>⑮ 完成図等 (1.7.1)~(3)(表1.7.1)</p> <p>⑯ 作成する(※ 完成図 ・ 保全に関する資料)</p> <p>※完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等)</p> <p>なお、完成図の著作権にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。</p> <p>○CADによる作成(※ 要 ・ 不要)</p> <p>ただし、作成できない場合は監督員との協議による。</p> <p>○CADによる提出(※ 要 ・ 不要)</p> <p>ただし、提出できない場合は監督員との協議による。</p>		ホルムアルデヒド放散量	該当する材料	規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	第三種	① JIS及びJASの☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	ステレン	パラジクロロベンゼン	○	学校、教育施設	○	○	○	○	○	○	○	住宅	○	○	○	○	○	○	○	その他	○	○	○	○	○	○																																										
種名称	便所																																																																																												
構造	木造 平屋建																																																																																												
建築面積	45.95 m ²																																																																																												
延床面積	37.51 m ²																																																																																												
工事項目	建築工事																																																																																												
ホルムアルデヒド放散量	該当する材料																																																																																												
規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用																																																																																												
第三種	① JIS及びJASの☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品																																																																																												
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	ステレン	パラジクロロベンゼン																																																																																						
○	学校、教育施設	○	○	○	○	○	○																																																																																						
○	住宅	○	○	○	○	○	○																																																																																						
○	その他	○	○	○	○	○	○																																																																																						
<p>① 一般共通事項</p> <p>① 適用基準等</p> <p>○建築工事標準詳細図 (平成28年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課</p> <p>○営繕工事写真撮影要領 (平成24年版) 同解説</p> <p>・工事写真の撮り方 建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>・建築解体工事共通仕様書 (平成24年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部</p> <p>② 工事実績情報の登録 (1.1.4)</p> <p>○請負者は、受注時において工事請負代金額が、500万円の工事について、(財)日本建設情報総合センター工事実績情報サービス(以下「JACIC」)が運営する工事実績情報サービス(COORINS)に、「COORINS入カシステム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約締結後10日以内にJACICに登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時にあつては、変更契約締結後10日以内に、完成時にあつては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。</p> <p>なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。ただし、期間には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日等は含まない。</p> <p>○請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し、必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書(第9号様式)を監督員に提出しなければならない。</p> <p>○請負者は、工事を施工するための下請負契約を締結した場合には下請代金にかかわらず、施工体制台帳を作成し、工事現場に備えとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。</p> <p>○請負者は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所と公衆の見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p>また、請負者は、施工体系図別に定める様式により監督員に提出しなければならない。</p> <p>③ 品質計画等 (1.2.2)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>○風圧力</p> <p>風速 (V₀=3.4 m/s)</p> <p>地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)</p> <p>○積雪荷重等</p> <p>垂直積雪量: 4.0 cm 積雪の単位荷重: 2.0 N/m²</p> <p>④ 電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>※適用する</p> <p>⑤ 発生材の処理等 (1.3.11)</p> <p>・引渡しを要するもの ()</p> <p>・特別管理産業廃棄物 ※有()</p> <p>処理方法()</p> <p>・現場において再利用を図るもの()</p> <p>・再生資材の利用を図るもの</p> <p>○アスファルトコンクリート塊</p> <p>○セメントコンクリート塊</p> <p>・建設発生木材</p> <p>・引渡しを要するもの、再生資源の利用を図るものについては調査作成し、監督員へ提出すること。</p> <p>○引渡しを要しないもの、再生資源化を図るもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令よるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。(マニフェスト A、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。)</p> <p>⑥ 環境への配慮 (1.4.1)</p> <p>建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。</p> <p>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しない又は放散が極めて少ないものとする。</p> <p>2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>3) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く)が追加されていない材料を使用する。</p>		<p>② 建築材料等</p> <p>③ 技能士 (1.5.2)</p> <p>10 化学物質の濃度測定 (1.5.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>ステレン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>学校、教育施設</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>住宅</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>※測定箇所(※ 図示)</p> <p>※測定方法(※ バツシツ法 ・ アクティブ法)</p> <p>※試料は、内装工完了から2週間以上の通風換気を行い、また、換気行いながら空気を調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了してから採取することとし、困難な場合は監督職員協議すること。</p> <p>※報告書提出部数 2部</p> <p>11 特別な材料の工法</p> <p>⑩ リサイクル認定製品の利用</p> <p>⑪ 施工中の安全管理</p> <p>⑫ 騒音・振動の防止</p> <p>⑬ 排出ガス対策 建設機械の使用</p> <p>⑭ 工事写真</p> <p>⑮ 完成図等 (1.7.1)~(3)(表1.7.1)</p> <p>⑯ 作成する(※ 完成図 ・ 保全に関する資料)</p> <p>※完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等)</p> <p>なお、完成図の著作権にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。</p> <p>○CADによる作成(※ 要 ・ 不要)</p> <p>ただし、作成できない場合は監督員との協議による。</p> <p>○CADによる提出(※ 要 ・ 不要)</p> <p>ただし、提出できない場合は監督員との協議による。</p>		適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	ステレン	パラジクロロベンゼン	○	学校、教育施設	○	○	○	○	○	○	○	住宅	○	○	○	○	○	○	○	その他	○	○	○	○	○	○																																																										
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	ステレン	パラジクロロベンゼン																																																																																						
○	学校、教育施設	○	○	○	○	○	○																																																																																						
○	住宅	○	○	○	○	○	○																																																																																						
○	その他	○	○	○	○	○	○																																																																																						
<p>④ 地業工事</p> <p>① 支持地盤</p> <p>・杭基礎 (4.3.4.5)(4.5.4.5)</p> <p>支持地盤の位置及び種類(基礎ぐいの先端位置含む)</p> <p>・図示による()</p> <p>○直接基礎</p> <p>支持地盤の位置及び種類(基礎底部の位置含む)</p> <p>○図示による(構造図による)</p> <p>試験掘り(掘切り底の状態の確認等)</p> <p>○行わない</p> <p>・行う位置等 ・図示による()</p> <p>・杭の載荷試験 (4.2.3)</p> <p>試験の位置、方法等</p> <p>・図示による()</p> <p>・地盤の載荷試験 (4.2.4)</p> <p>試験の位置、方法等</p> <p>・図示による()</p> <p>2 既製コンクリート杭地業 (4.3.2)</p> <p>種類</p> <p>・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭)</p> <p>・プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭)</p> <p>・外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC杭)</p> <p>SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490</p> <p>寸法、継手、性能等(種類:種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.3.2)(4.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="4">コンクリート</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">セツト数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力(kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>杭径(N/mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>径長(mm)</th> </tr> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>杭先端部形状 (4.3.2)</p> <p>・開放形 ・半開放形 ・閉そく形</p> <p>施工方法 (4.3.3~5)</p> <p>・打込み工法 (・油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー)</p> <p>・プレボーリングの併用</p> <p>・行わない</p> <p>・掘削深さ及び径</p> <p>・図示による()</p> <p>杭の精度</p> <p>・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下</p> <p>・杭の傾斜 ・1/100以内</p> <p>試験杭 (4.2.2)(4.3.3)</p> <p>試験杭の位置</p> <p>・図示による()</p> <p>打込杭の推定支持力の算定方法</p> <p>・図示による()</p> <p>・セメントミルク工法 (4.2.2)(4.3.4)</p> <p>アースオーガーの支持地盤への掘削深さ</p> <p>・1.5m程度</p> <p>杭の支持地盤への掘削深さ</p> <p>・1.0m以上</p> <p>杭の精度</p> <p>・水平方向の位置ずれ</p> <p>・杭径の1/4かつ100mm以下</p> <p>・杭の傾斜</p> <p>・1/100以内</p> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <p>・図示による()</p> <p>・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)</p> <p>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法</p> <p>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式の内α、β、γが以下の値を採用できる工法</p> <p>α=()、β=()、γ=()</p> <p>工法</p> <p>・プレボーリング拡大掘削工法</p> <p>・中掘り拡大掘削工法</p> <p>杭の精度 (4.3.5)</p> <p>・水平方向の位置ずれ</p> <p>・杭径の1/4かつ100mm以下</p> <p>・杭の傾斜</p> <p>・1/100以内</p> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <p>・図示による()</p> <p>杭継手工法 (4.3.2)(4.3.6)(7.2.5)</p> <p>・アーク溶接継手</p> <p>溶接材料</p> <p>・標準仕様書7.2.5(a)による</p> <p>・図示による()</p> <p>・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)</p> <p>工法</p> <p>※審査(評定等)を受けた工法</p> <p>検査</p> <p>※審査(評定等)により定められた項目</p> <p>施工</p> <p>※審査(評定等)された施工管理基準による</p> <p>杭頭の処理 (4.3.7)</p> <p>・処理しない</p> <p>・処理する</p> <p>処理方法(切断に伴う補強方法含む)</p> <p>・図示による()</p> <p>杭頭の中詰め材料 (4.3.7)</p> <p>・基礎のコンクリートと同割合のもの</p>			種類	コンクリート				継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	杭径(N/mm)	長さ(mm)	厚さ(mm)	径長(mm)	試験杭	上杭 中杭 下杭									本杭	上杭 中杭 下杭									<p>② 仮設工事</p> <p>① 足場その他 (2.2.4)</p> <p>※特種足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手摺、中さん及び巾木の機能を有するものを設置しなければならない。</p> <p>また、定置させる足場及び作業構台の類は、別契約の関係請負者に無償で使用させる。</p> <p>(2.3.1)</p> <p>※設置する(協議による)</p> <p>監督職員事務所の規模 (単位:m²)</p> <table border="1"> <tr> <th>規模</th> <th>※</th> <th>-</th> <th>-</th> <th>-</th> <th>-</th> </tr> <tr> <th>面積</th> <th>(10程度)</th> <th>(20程度)</th> <th>(35程度)</th> <th>(65程度)</th> <th>(100程度)</th> </tr> </table> <p>監督職員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り 又は ビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁、天井</td> <td>合板 又は せっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>溶融重合めっき合板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り</td> </tr> </table> <p>備品等の設置</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長ぐつ</th> <th>雨がっぱ</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>湯沸器</th> <th>掃除機</th> <th>請負者加入電話機</th> <th>冷暖房機器</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table> <p>3 監督職員事務所の備品等</p> <p>4 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償)</p> <p>5 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償)</p> <p>④ 土工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>埋戻し及び盛土の種類</p> <p>・A種 適用場所()</p> <p>○B種 適用場所()</p> <p>・C種 適用場所() 土質() 受湿場所()</p> <p>・D種 (細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。)</p> <p>適用場所()</p> <p>(3.2.5)</p> <p>② 建設発生土の処理</p> <p>○構外搬出適切処理</p> <p>・構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に散均し</p> <p>(3.3.3)</p> <p>3 山留めの存置</p> <p>存置範囲(※図示)</p>		規模	※	-	-	-	-	面積	(10程度)	(20程度)	(35程度)	(65程度)	(100程度)	部位等	仕 上 げ	床	合板張り 又は ビニール床シート張り	内壁、天井	合板 又は せっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗	屋根	溶融重合めっき合板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板	掛時計	温度計	数量	個	台	個	個	個	種類	長ぐつ	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	湯沸器	掃除機	請負者加入電話機	冷暖房機器	数量	個	台	個	台	台
	種類			コンクリート								継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																																														
		杭径(N/mm)	長さ(mm)	厚さ(mm)	径長(mm)																																																																																								
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																												
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																												
規模	※	-	-	-	-																																																																																								
面積	(10程度)	(20程度)	(35程度)	(65程度)	(100程度)																																																																																								
部位等	仕 上 げ																																																																																												
床	合板張り 又は ビニール床シート張り																																																																																												
内壁、天井	合板 又は せっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗																																																																																												
屋根	溶融重合めっき合板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り																																																																																												
種類	机・いす	書棚	黒板	掛時計	温度計																																																																																								
数量	個	台	個	個	個																																																																																								
種類	長ぐつ	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																																																								
数量	足	着	個	個	台																																																																																								
種類	消火器	湯沸器	掃除機	請負者加入電話機	冷暖房機器																																																																																								
数量	個	台	個	台	台																																																																																								
特記事項		<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</p> <p>株式会社 前野建築設計</p> <p>一級建築士 第117489号 前野 初 俊</p> <p>一級建築士 第320204号 前野 将 輝</p>	<p>一級建築士 第360917号 前田 祐 作</p> <p>設計年月日 平成31年 3月 8日</p> <p>工事名称 西野公園便所(北) 建替工事</p> <p>図面番号 A-01</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書No. 1</p> <p>縮尺 NS</p>																																																																																										

④ 地業工事 （続き）	3 鋼杭地業 種類(の記号) ・SKK400 ・SKK490 (4.4.2) 寸法、継手等 (4.2.2) (4.4.2) 種類 杭径(mm) 板厚(mm) 杭長(mm) 継手数 セット数 長期設計支持力(kN/本) 備考 試験杭 上杭 中杭 下杭 本杭 上杭 中杭 下杭 杭先端部形状 (4.4.2) ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 先端部の補強 (4.4.2) ・標準仕様書 図4.4.1、表4.4.2による 先端部の補強(補強バンド等)及びその他付属品の材質 ・SS400と同等又はそれ以上 施工方法 (4.4.1) ・打込み工法(・油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー) (4.2.2) (4.4.3) ・プレローリングの併用 ・行わない ・行う 掘削深さ及び径 ・図示による() 杭の精度 (4.4.3) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内 試験杭 試験杭の位置 ・図示による() 打込杭推定支持力の算定 ・図示による() ・特定埋込杭工法 (4.4.4) ・平13国土交通省第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・平13国土交通省第1113号第6による地盤の許容支持力式の内 α 、 β 、 γ が下記の値を採用できる工法 $\alpha=()$ 、 $\beta=()$ 、 $\gamma=()$ 工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭の精度 (4.4.3) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内 試験杭 試験杭の位置 ・図示による() 杭の現場継手 (4.4.5) ・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による 溶接材料 ・標準仕様書 7.2.5(a)(b)による ・図示による() ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による 杭頭の処理 (4.3.7) (4.4.6) ・処理しない ・処理する 処理方法(切断ともなう補強方法含む) ・図示による() 杭頭の中詰め材料 (4.3.7) (4.4.6) ・基礎のコンクリートと同調合のもの 掘削工法 (4.5.1) (4.5.4) ・アースドリル工法(安定液 ※使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない) 併用する工法 (4.5.1) (4.5.5) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘削杭工法(安定液 ・使用する ・使用しない) 寸法等 (4.2.2) 軸径(mm) 掘削径(mm) 杭長(mm) セット数 長期設計支持力(kN/本) 備考 試験杭 本杭 鉄筋の種類 (4.5.3) 種類の記号 呼び径(mm) 備考 ・SD295A ・SD345	⑤ 砂利地業 ⑥ 捨コンクリート地業 ⑦ 床下防湿層	帯筋 (4.5.3) ・図示による() 鉄筋かごの補強 (4.5.3) ・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ、1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋との接触部を溶接する。溶接長さは、補強材の幅とする。 鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.3) ・100mm 鉄筋の重ね継手長さ、主筋の基礎底面への定着長さ (4.5.3~4.5.5) ・図示による() セメントの種類 (4.5.3) ・高炉セメントB種 ㊦ コンクリートの種類 (4.5.3) ・A種 ・B種 ・審査(評定又は大臣認定)された内容による コンクリートの設計基準強度(Fo) (4.5.3) ・図示による() 構造体強度補正值(S) (4.5.3) ・3N/mm ² ・図示による() ・審査(評定又は大臣認定)された内容による 試験杭 (4.2.2) (4.5.4) (4.5.5) 試験杭の位置 ・図示による() 孔壁測定 (4.5.4) (4.5.5) 測定箇所 ・試験杭()箇所及び本杭()箇所 杭の精度 (4.5.4) (4.5.5) 水平方向の位置ずれ 材料 (4.6.2) ○再生クラッシュラン RC4.0 ㊦ ・切込砂利及び切込砕石 砂利厚さ (4.6.3) ※60mm ○100mm 適用箇所 ○基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ○図示による(構造図) 捨コンクリートの厚さ (4.6.4) ○60mm 施工範囲 (4.6.4) (6.14.1) ○基礎梁下、土に接するスラブ下 ○図示による(構造図) 設計基準強度 (4.6.4) (6.14.1) ○18N/mm ² スラブ (4.6.4) (6.14.1) ○15cm又は18cm 材料 (4.6.2) ○ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 施工範囲 (4.6.5) ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下	⑧ 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ○図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b)) 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b))	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5) 最小かぶり厚さ ○図示による(構造関係共通図(配筋標準図)表4.1) 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○無し ・有り 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートで土に接する部分 ○無し ・有り 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ○無し ・有り 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm 鉄筋相互のあき(機械式継手及び溶接継手を除く) (5.3.5) ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4.1) 6 機械式継手 使用箇所 (5.5.2) ・図示による() H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 機械式継手の種類及び工法 () (5.5.2) 鉄筋相互のあき (5.3.5) ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4.1) 品質の確認方法 (5.5.2) ・図示による() 不良となった継手の修正方法等 (5.5.2) ・図示による() 7 溶接継手 使用箇所 (5.5.3) ・図示による() H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 鉄筋相互のあき (5.3.5) ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4.1) 継手の工法 (5.5.3) ・図示による() 品質の確認方法 (5.5.3) ・図示による() 不良となった継手の修正方法等 (5.5.3) ・図示による() 8 各部配筋 (5.3.7) 各部配筋 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)) 9 圧接完了後の試験 (5.4.9) (5.4.10) 外観試験 (5.4.9) (5.4.10) ※行う(全数) 抜取試験 (5.4.9) (5.4.10) ※超音波探傷試験 ・引張試験 試験ロット:1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	⑨ 気乾単位容積質量 (6.2.3) (6.10.1) 7 軽量コンクリート (6.10.1) 種類 ・1種 ・2種 適用箇所 ・図示による() 8 寒中コンクリート (6.11.1) 適用期間 ・図示による() ・積算温度を基に定める場合 ・図示による() 9 暑中コンクリート (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² 10 マスコンクリート (6.2.1) (6.13.1) 適用箇所 ・図示による() セメントの種類 (6.13.2) ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ㊦ ・フライアッシュセメントB種 ・普通ポルトランドセメント 混和材料 (6.13.2) ・混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤 スラブ (6.13.2) ※15cm 設計基準強度 (6.14.1) ※18 (N/mm ²) スラブ (6.14.1) ※15cm又は18cm セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ㊦ ・フライアッシュセメントB種 ㊦ 適用箇所 (6.2.1) (6.14.1) ※標準仕様書6.14.1(a)による箇所 ・図示による() 12 流動化コンクリート (6.2.1) (6.15.1) 適用箇所 ・図示による() 13 ひび割れ誘発目地打継目地 (6.6.3) (6.8.2) (9.7.3) 目地工法 ・標準仕様書9.7.3による 間隔、位置、形状 ・図示による() 14 コンクリートの仕上り (6.2.5) 部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 ・標準仕様書表6.2.3による 合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ (6.2.5) (6.8.3) 種別 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ⑩ 打増し厚さ(打直し仕上げ部) (6.8.2) 打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ○20mm 打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ○20mm ⑪ 型枠 (6.8.3) せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm) ㊦ ・断熱材の兼用した型枠材の使用 (6.8.3) ・MCR工法用シート 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による() スリーブの材種 (6.8.3) ※標準仕様書6.8.3(i)(2)(i)から(iv)による ⑫ コンクリートの単位水量測定 実施要領 ・図示による(構造関係共通図(構造関係共通事項)横-4施工方法及び計画書関連等 コンクリートの単位水量測定)

7 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.1)(7.1.3)	11 レール及びその付属品	形状及び寸法等 ・ 図示による ()	(7.2.8)	19 耐火被覆	種類	(7.9.2~7)			21 アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種類	(9.2.2~5)(表9.2.3~9)										
	2 施工管理技術者	・ 適用する ・ 適用しない (7.1.3.4)	12 スタッド	材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198 種類等			種類	種類	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)		種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護
	3 鋼材	材質等 (7.2.1)	13 柱底均しモルタル	モルタルの種類 ・ 無収縮モルタル ・ 無収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標準仕様書7.2.9(b)(1)から(4)による ・ 標準仕様書7.2.9(a)によるモルタル	(7.2.9)		性能	(7.9.2~7)				性能	(7.9.2~7)			種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護
	4 高力ボルト	ボルトの区分 (7.2.2)	14 工作図	監督員による現寸調査 (7.3.2)			・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火					・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火				種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護
	5 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 (7.2.3)	15 製作精度	※標準仕様書7.3.3及びH12建造第1464号第二号イによる H12建造第1464号第二号イ(1)(2)のただし書きによる補強は、「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による	(7.3.3)		24 アンカーボルト等の設置	構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並び寸法 (7.10.3)				24 アンカーボルト等の設置	構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並び寸法 (7.10.3)			種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護
	6 溶融亜鉛めっき高力ボルト	溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.2)	16 鉄骨の仮組	・ 行わない ・ 行う 仮組を行う範囲 (7.3.10)			25 軽量形鋼構造	接合部 (ボルト接合の場合) (7.11.2)				25 軽量形鋼構造	接合部 (ボルト接合の場合) (7.11.2)			種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護
	7 アンカーボルト	適用 (7.2.4)(7.10.3)	17 溶接技能者の技量付加試験	試験の要領 (7.6.3)			8 コンクリートブロック A L C パネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2.5)				1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2.5)	断面形状及び圧縮強さによる区分 (8.2.2.5)			種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護
	8 溶接材料	溶接材料 (7.2.5)	18 溶接部	開先の形状 (7.6.4)			3 A L C パネル	パネルの種類 (8.4.2~5)				3 A L C パネル	パネルの種類 (8.4.2~5)			種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護
	9 ターンバックル	種類 (7.2.6)	19 現場溶接の有無	・ 無し ・ 有り			4 押出成形セメント板 (ECP)	パネルの種類 (8.5.2~5)				4 押出成形セメント板 (ECP)	パネルの種類 (8.5.2~5)			種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護
	10 デッキプレート	材質、形状及び寸法 (6.8.3)(7.2.7)	20 入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 (7.6.7)			18 錆止め塗装	塗料の種類 (7.8.3)				18 錆止め塗装	塗料の種類 (7.8.3)			種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護	種類	施工箇所	断熱材	仕上り部の保護

特記事項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝	一級建築士 第360917号 前田 祐 作	設計年月日 平成31年 3月 8日	工事名称 西野公園便所(北) 建替工事	図面番号 A-03
			図面名称 建築工事特記仕様書No. 3	縮尺 NS	

木工事	① 表面仕上げ (12.1.4)	<p>表面仕上げの種類 適用箇所</p> <p>・A種</p> <p>○B種</p> <p>・C種</p>																																																																																											
	② 製材 (12.2.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)	<p>・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td>・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・代用樹種を使用できない箇所 ()</p>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※2級		※A種・B種					※2級		※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※1等		※10以下					※1等		※10以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用				()	・適用する	・適用する	※A種					造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	・B種					()	・適用する	・適用する	※A種					造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	・B種										
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																						
				※2級		※A種・B種																																																																																							
			※2級		※A種・B種																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																							
			※1等		※10以下																																																																																								
			※1等		※10以下																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																						
			()	・適用する	・適用する	※A種																																																																																							
			造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	・B種																																																																																							
			()	・適用する	・適用する	※A種																																																																																							
			造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	・B種																																																																																							
3 造作用集成材 (12.2.1)	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率 (%)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率 (%)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率 (%)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用				※1等・2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用					※1等・2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用						施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用					※15以下						※15以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用						※15以下							※15以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用						※15以下							※15以下	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																									
			※1等・2等																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																								
				※1等・2等																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																								
				※15以下																																																																																									
				※15以下																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																							
					※15以下																																																																																								
					※15以下																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																							
					※15以下																																																																																								
					※15以下																																																																																								
4 造作用単板積層材 (12.2.1)	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し (等級:)</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>含水率 (%)</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)</td> <td>※14以下</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し ()</td> <td>※14以下</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する				・無し (等級:)	・適用する		施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)	※14以下	・適用する				・無し ()	※14以下	・適用する																																																												
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																									
		・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する																																																																																										
		・無し (等級:)	・適用する																																																																																										
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																								
		・有り (加工: 天然木化粧加工・塗装加工)	※14以下	・適用する																																																																																									
		・無し ()	※14以下	・適用する																																																																																									

5 床張り用合板等 (12.2.1)	<p>合板のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・普通合板G</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・構造用合板G</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>有効断面係数比</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※2級以上・1級</td> <td>※1類・特類</td> <td>※C-D</td> <td>以上</td> <td>※12</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・パーティクルボードG</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・1級・2級・3級・4級</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1級・2級・3級・4級</td> <td></td> </tr> </table> <p>接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・防虫・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位: ()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理 適用部位: K2・K3・K4</p> <p>・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理 適用部位: K2・K3・K4</p> <p>処理の方法 ※標準仕様書12.3.1(3)(H)①~④による</p> <p>・ボード原料接着材への薬剤注入による防虫・防蟻処理 適用部位: ()</p>	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない		施工箇所	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		※2級以上・1級	※1類・特類	※C-D	以上	※12		・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない		施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※13タイプ	※P又はM		※15	施工箇所	等級	厚さ (mm)		・1級・2級・3級・4級			・1級・2級・3級・4級	
施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																																																		
	※5.5		※1類・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない																																																			
施工箇所	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																																															
	※2級以上・1級	※1類・特類	※C-D	以上	※12		・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																																																
施工箇所	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																			
		※13タイプ	※P又はM		※15																																																			
施工箇所	等級	厚さ (mm)																																																						
	・1級・2級・3級・4級																																																							
	・1級・2級・3級・4級																																																							
⑥ 接着剤 (12.2.2.3)	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p>																																																							
⑦ 防虫・防蟻処理 (12.3.1.2)	<p>・防虫・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位: ()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理 適用部位: K2・K3・K4</p> <p>・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理 適用部位: K2・K3・K4</p> <p>処理の方法 ※標準仕様書12.3.1(3)(H)①~④による</p> <p>・ボード原料接着材への薬剤注入による防虫・防蟻処理 適用部位: ()</p>																																																							
⑧ 屋根及び天井工事	① 長尺金属板葺 (13.2.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めつき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td>カラー-ガルバリウム鋼板</td> <td>0.4mm</td> <td>・心木なし瓦葺 ・平葺 ・立平葺 ・楯掛葺 ○横葺</td> <td></td> </tr> </table> <p>下葺材料 ○アスファルトルーフィング940 改質アスファルトルーフィング下葺材 (一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ)</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>雷止め・設置する 図示 ()</p>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めつき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考	屋根	※JIS G 3322の屋根用コイル	カラー-ガルバリウム鋼板	0.4mm	・心木なし瓦葺 ・平葺 ・立平葺 ・楯掛葺 ○横葺																																											
	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めつき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考																																																		
屋根	※JIS G 3322の屋根用コイル	カラー-ガルバリウム鋼板	0.4mm	・心木なし瓦葺 ・平葺 ・立平葺 ・楯掛葺 ○横葺																																																				
2 折板葺 (13.2.2)(13.3.2.3)(表13.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高 山c'c' による区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>野垂面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※重ね形、はげ締め形、かん合形</td> <td>山高 山c'c' ヲ</td> <td>() 種</td> <td>※鋼板製・7&#246;ニ&#246;ル合金板製</td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めつき付着量等の種類及び記号 ()</p> <p>断熱材 ・有り (種別:) 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・無し</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p>	施工箇所	形式	山高 山c'c' による区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	野垂面戸板	耐火性能		※重ね形、はげ締め形、かん合形	山高 山c'c' ヲ	() 種	※鋼板製・7öニöル合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し																																							
施工箇所	形式	山高 山c'c' による区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	野垂面戸板	耐火性能																																																	
	※重ね形、はげ締め形、かん合形	山高 山c'c' ヲ	() 種	※鋼板製・7öニöル合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し																																																	

3 粘土瓦葺 (13.4.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>製法による区分</th> <th>形状による区分</th> <th>寸法による区分</th> <th>大きさ</th> <th>産地</th> <th>役物瓦の種類</th> <th>雷止め瓦</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>五桠木 材質 ※杉又はひのき 寸法 ※幅21×高さ15(mm)</p> <p>棟補強用心材 材質 ※杉又はひのき 寸法 ※幅40×高さ30(mm)</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>瓦葺木の下付工法 図示</p> <p>棟の工法 ・7寸丸伏せ葺又はF型用冠瓦伏せ葺 ・のし葺 ・のし積み葺</p> <p>④ とい (13.5.2.3)(表13.5.5)</p> <p>といの材料 ・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>鋼管製といの防露巻き ・適用する (工法: ※標準仕様書 表13.5.5による)) ・適用しない</p> <p>ルーフトレンド</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用 (・縦型・横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雷止め瓦									・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	種別	施工箇所	・ろく屋根用 (・縦型・横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用							
施工箇所	種類	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雷止め瓦																									
								・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																									
種別	施工箇所																																
・ろく屋根用 (・縦型・横型)																																	
・バルコニー用																																	
・バルコニー中継用																																	
④ とい (13.5.2.3)(表13.5.5)	<p>といの材料 ・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>鋼管製といの防露巻き ・適用する (工法: ※標準仕様書 表13.5.5による)) ・適用しない</p>																																
⑤ 金属工事	<p>① ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>⑧HL程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・No.2B程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鏡面仕上げ程度</td> <td></td> </tr> </table> <p>② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>皮膜又は場合皮膜の種類</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>・A-1種</td> <td>※AA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス・ブラス系・ステンレス)</td> <td>※AA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-1種</td> <td>※B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○B-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)</td> <td>※B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-1種</td> <td>※AA6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)</td> <td>※AA6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色</p>	種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)	⑧HL程度		・No.2B程度		・鏡面仕上げ程度		種別	皮膜又は場合皮膜の種類	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・A-1種	※AA15		・A-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス・ブラス系・ステンレス)	※AA15		・B-1種	※B		○B-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)	※B		・C-1種	※AA6		・C-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)	※AA6		・D種		
種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)																																
⑧HL程度																																	
・No.2B程度																																	
・鏡面仕上げ程度																																	
種別	皮膜又は場合皮膜の種類	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																															
・A-1種	※AA15																																
・A-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス・ブラス系・ステンレス)	※AA15																																
・B-1種	※B																																
○B-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)	※B																																
・C-1種	※AA6																																
・C-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)	※AA6																																
・D種																																	
3 鉄鋼の重締めつき (14.2.3)(表14.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td>・B種 ・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td> <td>・D種 ・E種 ・F種</td> <td></td> </tr> </table>	表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)		・A種		溶融亜鉛めっき	・B種 ・C種		電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種																					
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																															
	・A種																																
溶融亜鉛めっき	・B種 ・C種																																
電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種																																
4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)(表14.4.1)	<p>野縁等の種類 屋外 ※25型・19型 屋内 ※19型・25型 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示</p> <p>・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 図示</p> <p>・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(h)(1)~(2)による 図示</p> <p>・天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 図示</p> <p>・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示 補強方法 図示</p>																																
5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)	<p>スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示</p>																																

6 金属成形板張り (14.6.2.3)(表14.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>製法</th> <th>形状</th> <th>板幅 (mm)</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・7&#246;ニ&#246;ル</td> <td>・押し出し</td> <td>メソッドレ</td> <td></td> <td></td> <td>・B-1種 ・B-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)</td> </tr> <tr> <td>・ロール成形</td> <td>n' 成形</td> <td></td> <td></td> <td>・C-1種 ・C-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・プレス</td> <td>n' 成形</td> <td></td> <td></td> <td>・D種</td> </tr> </table> <p>取得用下地 ※標準仕様書14.4による 図示 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 図示) ・設けない</p> <p>7 7&#246;ニ&#246;ル製笠木 (14.7.2.3)(表14.2.1)(表14.7.1)</p> <p>種類 ・250形・300形・350形・100形 表面処理 種別 () 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)) 着色 (・アンバー・ブロンズ・ブラス系・ステンカラー)</p> <p>笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p>	種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理	・7öニöル	・押し出し	メソッドレ			・B-1種 ・B-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)	・ロール成形	n' 成形			・C-1種 ・C-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)		・プレス	n' 成形			・D種						
種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																									
・7öニöル	・押し出し	メソッドレ			・B-1種 ・B-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)																									
	・ロール成形	n' 成形			・C-1種 ・C-2種 (・アルミ・ブロンズ・ブラス系・ステンレス)																									
	・プレス	n' 成形			・D種																									
8 手すり及びタラップ (14.8.2.3)	<p>手すり ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※HL程度・No.2B程度)) ・鋼製 (表面処理 溶融亜鉛めっきC種))</p> <p>タラップ ・ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※研磨なし)) ・鋼製 (表面処理 溶融亜鉛めっきC種))</p>																													
⑨ 左官工事	<p>① モルタル塗り (15.2.2.5)</p> <p>既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示)) ・設けない</p> <p>床目地 ・設ける (工法 ※押し目地)) ・設けない</p> <p>外壁タイル張り下地の下地モルタルの接着力試験 ・行う ・行わない</p> <p>・防水剤</p> <p>② 床コンクリート 直均し仕上げ (6.2.5)(15.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>平坦さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・フリーアクセスフロア (支持調整式) 範囲</td> <td>1mにつき10以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フリーアクセスフロア (置敷式) 範囲</td> <td>3mにつき7以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>3 セルフレベリング材塗り (15.4.2)(表15.4.1)</p> <p>・せつこう系 ・セメント系</p> <p>4 仕上塗材仕上げ (15.5.2)(表15.5.1)</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 仕上塗材の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td>・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・砂壁状 ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W</td> </tr> <tr> <td>・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E</td> <td>・</td> <td>・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E</td> </tr> <tr> <td>・複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS</td> <td>・</td> <td>・砂壁状 ・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E</td> </tr> <tr> <td>・軽量骨材仕上塗材</td> <td>・可とう形軽量塗材</td> <td>・</td> <td>・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E</td> </tr> </table>	施工箇所	平坦さ (mm)	備考	・フリーアクセスフロア (支持調整式) 範囲	1mにつき10以下		・フリーアクセスフロア (置敷式) 範囲	3mにつき7以下		種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状 ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W	・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E	・	・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E	・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・	・砂壁状 ・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E	・軽量骨材仕上塗材	・可とう形軽量塗材	・	・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E
施工箇所	平坦さ (mm)	備考																												
・フリーアクセスフロア (支持調整式) 範囲	1mにつき10以下																													
・フリーアクセスフロア (置敷式) 範囲	3mにつき7以下																													
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																											
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状 ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W																											
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E	・	・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E																											
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・	・砂壁状 ・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E																											
・軽量骨材仕上塗材	・可とう形軽量塗材	・	・吹吹き・凸凹処理 ・平たん状 ・凹凸状・ひき起こし ・かき落とし ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S ・内装厚塗材E																											
5 ALCパネルの場合の下地処理 (15.5.4)	<p>内壁目地部の形状 ※V形目地付き</p>																													
6 マスチック塗材塗り (15.6.2)	<p>種別 ・A種 ・B種 (仕上材塗り:EP-G ※B種・A種)</p>																													
7 ロックウール吹付け (15.8.2)	<p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 吹付け厚さ (mm) 図示 ・25</p>																													

<p>④ 建具工事</p> <p>1 防火戸 (16.1.3)</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>3 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>④ アルミニウム製建具 (16.2.2.4,5) (表14.2.1)</p> <p>性能等級</p> <p>外部に面する建具</p> <p>・A種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・B種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・C種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法</p> <p>・建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具</p> <p>・B-1種</p> <p>・B-2種</p> <p>・C-1種</p> <p>・C-2種</p> <p>・C-3種</p> <p>・C-4種</p> <p>・C-5種</p> <p>・C-6種</p> <p>・C-7種</p> <p>・C-8種</p> <p>・C-9種</p> <p>・C-10種</p> <p>・C-11種</p> <p>・C-12種</p> <p>・C-13種</p> <p>・C-14種</p> <p>・C-15種</p> <p>・C-16種</p> <p>・C-17種</p> <p>・C-18種</p> <p>・C-19種</p> <p>・C-20種</p> <p>・C-21種</p> <p>・C-22種</p> <p>・C-23種</p> <p>・C-24種</p> <p>・C-25種</p> <p>・C-26種</p> <p>・C-27種</p> <p>・C-28種</p> <p>・C-29種</p> <p>・C-30種</p> <p>・C-31種</p> <p>・C-32種</p> <p>・C-33種</p> <p>・C-34種</p> <p>・C-35種</p> <p>・C-36種</p> <p>・C-37種</p> <p>・C-38種</p> <p>・C-39種</p> <p>・C-40種</p> <p>・C-41種</p> <p>・C-42種</p> <p>・C-43種</p> <p>・C-44種</p> <p>・C-45種</p> <p>・C-46種</p> <p>・C-47種</p> <p>・C-48種</p> <p>・C-49種</p> <p>・C-50種</p> <p>・C-51種</p> <p>・C-52種</p> <p>・C-53種</p> <p>・C-54種</p> <p>・C-55種</p> <p>・C-56種</p> <p>・C-57種</p> <p>・C-58種</p> <p>・C-59種</p> <p>・C-60種</p> <p>・C-61種</p> <p>・C-62種</p> <p>・C-63種</p> <p>・C-64種</p> <p>・C-65種</p> <p>・C-66種</p> <p>・C-67種</p> <p>・C-68種</p> <p>・C-69種</p> <p>・C-70種</p> <p>・C-71種</p> <p>・C-72種</p> <p>・C-73種</p> <p>・C-74種</p> <p>・C-75種</p> <p>・C-76種</p> <p>・C-77種</p> <p>・C-78種</p> <p>・C-79種</p> <p>・C-80種</p> <p>・C-81種</p> <p>・C-82種</p> <p>・C-83種</p> <p>・C-84種</p> <p>・C-85種</p> <p>・C-86種</p> <p>・C-87種</p> <p>・C-88種</p> <p>・C-89種</p> <p>・C-90種</p> <p>・C-91種</p> <p>・C-92種</p> <p>・C-93種</p> <p>・C-94種</p> <p>・C-95種</p> <p>・C-96種</p> <p>・C-97種</p> <p>・C-98種</p> <p>・C-99種</p> <p>・C-100種</p> <p>5 網戸等 (16.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS 316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS 304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>6 樹脂製建具 (16.3.2~5)</p> <p>性能等級</p> <p>外部に面する建具</p> <p>・A種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・B種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・C種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号: ※建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法</p> <p>・建具表による</p> <p>表面色</p> <p>※標準色</p> <p>※特注色</p> <p>水切り板</p> <p>※図示</p> <p>※ゼン板</p> <p>ガラス</p> <p>※複層ガラス</p> <p>7 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型</p> <p>・適用する (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>・S-4 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・S-5 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・S-6 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>鋼板</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>めっき付着量</th> <th>厚 さ</th> </tr> <tr> <td>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</td> <td>※Z12又はF12</td> <td>※標準仕様書</td> </tr> <tr> <td>・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)</td> <td>※Y08</td> <td>表16.4.2による</td> </tr> </table> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型</p> <p>・適用する (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>鋼板</p> <p>※亜鉛めっき鋼板</p> <p>※ニル被覆鋼板</p> <p>※カラー鋼板</p> <p>鋼板の厚さ</p> <p>※標準仕様書16.5.1による</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質</p> <p>※鋼板</p> <p>⑤ 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型</p> <p>・適用する (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>鋼板</p> <p>※亜鉛めっき鋼板</p> <p>※ニル被覆鋼板</p> <p>※カラー鋼板</p> <p>鋼板の厚さ</p> <p>※標準仕様書16.5.1による</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質</p> <p>※鋼板</p>	種類	材種	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS 316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS 304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	材 料	めっき付着量	厚 さ	・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	※Z12又はF12	※標準仕様書	・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)	※Y08	表16.4.2による	<p>9 ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型</p> <p>・適用する (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <p>・S-4 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・S-5 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・S-6 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ※建具表による)</p> <p>鋼板 (屋外)</p> <p>※SUS 430JIL, SUS 443J1, SUS 304</p> <p>鋼板 (屋内)</p> <p>※SUS 430, SUS 430JIL, SUS 443J1, SUS 304</p> <p>表面仕上げ</p> <p>※H L ・鏡面</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工</p> <p>※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>10 木製建具 (16.7.2~4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率</p> <p>※B種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>樹種・規格等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7%合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1種 ・2種)</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ</p> <p>※表16.7.6による</p> <p>・かまち戸</p> <p>かまち樹種 () 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま</p> <p>張りの種別 (・I型 ・II型)</p> <p>上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度</p> <p>縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクレーヤー塗装)</p> <p>見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠、くつずりの材料</p> <p>・建具表による</p> <p>① 建具用金物 (16.8.2.3)</p> <p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番</p> <p>※標準仕様書16.8.3による</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>○建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>○建具表による</p> <p>クローザ類</p> <p>・建具表による</p> <p>12 鍵 (16.8.4)</p> <p>マスターキー</p> <p>・製作する</p> <p>・製作しない</p> <p>その他の鍵</p> <p>※各室3本1組</p> <p>鍵箱</p> <p>※有り ・無し</p> <p>13 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>自動ドア</th> <th>性 能</th> <th>防 錆</th> <th>センサーの種類</th> <th>凍結防止</th> </tr> <tr> <td>・SSLD-1</td> <td>※標準仕様書16.9.1による</td> <td></td> <td>・マットスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SSLD-2</td> <td></td> <td></td> <td>・光線 (反射) スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・DSL-1</td> <td></td> <td></td> <td>・熱線スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・DSL-2</td> <td></td> <td>・適用する</td> <td>・音波スイッチ</td> <td>・行う (適用箇所は建具表による)</td> </tr> <tr> <td>・SND-1</td> <td>※標準仕様書16.9.2による</td> <td>・適用しない</td> <td>・光電スイッチ</td> <td>・行わない</td> </tr> <tr> <td>・SND-1</td> <td></td> <td></td> <td>・電波スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・タッチスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・押しボタンスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ペダルスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・多機能トイレスイッチ</td> <td></td> </tr> </table> <p>・図示</p> <p>14 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)</p> <p>性能</p> <p>※標準仕様書16.10.1による</p> <p>15 軽量シャッター (16.11.2.3)</p> <p>シャッターの種類</p> <p>・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m²</p> <p>・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m²</p> <p>・屋内用防火シャッター</p> <p>・防煙シャッター</p> <p>開閉機能による種類</p> <p>※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式</p> <p>シャッターのシャッターケース</p> <p>・設ける</p> <p>・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <p>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量</p> <p>※Z12又はF12</p>	合板の種類	樹種・規格等	備 考	・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7%合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1種 ・2種)		・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1種 ・2種)		・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1種 ・2種)		自動ドア	性 能	防 錆	センサーの種類	凍結防止	・SSLD-1	※標準仕様書16.9.1による		・マットスイッチ		・SSLD-2			・光線 (反射) スイッチ		・DSL-1			・熱線スイッチ		・DSL-2		・適用する	・音波スイッチ	・行う (適用箇所は建具表による)	・SND-1	※標準仕様書16.9.2による	・適用しない	・光電スイッチ	・行わない	・SND-1			・電波スイッチ					・タッチスイッチ					・押しボタンスイッチ					・ペダルスイッチ					・多機能トイレスイッチ		<p>16 軽量シャッター (16.12.2~4)</p> <p>開閉形式</p> <p>※手動式 ・上部電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () N/m²</p> <p>スラットの材質</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※Z06又はF06)</p> <p>・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※AZ90)</p> <p>スラットの形状</p> <p>・インターロック形</p> <p>・オーバーラッピング形</p> <p>17 オーバーヘッドドア (16.13.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧区分 (Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・125</td> <td>※バランスタイプ</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>・ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・75</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50</td> <td></td> <td>・パーチカル形</td> <td></td> </tr> </table> <p>18 ガラス (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表による。</p> <p>・合わせガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>構成種類</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>・フロート合わせガラス</td> <td>・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス</td> <td>・I類</td> </tr> <tr> <td>・網入磨き合わせガラス</td> <td>・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収合わせガラス</td> <td>・II-1類 ・II-2類 ・III類</td> </tr> </table> <p>・強化ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>種 類</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>・フロートガラス</td> <td>・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス</td> <td>・I類 ・III類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・型板強化ガラス</td> <td></td> </tr> </table> <p>・熱線吸収板ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>性 能</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・複層ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品 類</th> <th>断熱性</th> <th>日射熱遮へい性</th> </tr> <tr> <td>・断熱複層ガラス</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> <td>U1 U2 U-3-1 ・U-3-2</td> </tr> <tr> <td>・日射熱遮へい複層ガラス</td> <td>・4種 ・5種</td> <td>E4 E5</td> </tr> </table> <p>・熱線反射ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品 類</th> <th>日射熱遮へい性</th> <th>耐久性</th> </tr> <tr> <td>・熱線反射ガラス</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>A種 A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・高性能熱線反射ガラス</td> <td>・3種</td> <td>B種</td> </tr> </table> <p>反射被膜面</p> <p>・内面 ・外面</p> <p>映像調整</p> <p>・行わない ・行う</p> <p>・倍強度ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類の名称</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>・フロート倍強度ガラス</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度ガラス</td> <td>・グレー ・ブルー ・ブロンズ</td> </tr> </table> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形</td> <td>※標準仕様書16.14.11による ・図示</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材</td> <td>※標準仕様書16.14.11による ・図示</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※標準仕様書16.14.11による ・図示</td> </tr> </table> <p>19 ガラスブロック (16.14.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法</th> <th>厚 さ</th> <th>色 調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・正方形</td> <td>・125×125</td> <td>80</td> <td>・クリア 乳白</td> <td>平縁目 15以下</td> <td rowspan="4">※6mm以下 ごとに 10~25</td> <td rowspan="4">※無し ・有り</td> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>95</td> <td>・ ・ ・</td> <td>※15以下</td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>95</td> <td>・ ・ ・</td> <td>内削 ※6以上</td> </tr> <tr> <td>・320×320</td> <td>95</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・長方形</td> <td>・250×125</td> <td>80</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・320×160</td> <td>95</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。</p> <p>壁用金属枠及び補強材</p> <p>・設ける (形状 ※図示)</p> <p>・設けない</p> <p>力骨</p> <p>材質</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS 304)</p> <p>寸法</p> <p>※径5.5mm</p> <p>形状</p> <p>※はしご形状補筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ()</p> <p>金属製化粧カバー</p> <p>材質</p> <p>・ステンレス製</p> <p>・アルミニウム製</p> <p>寸法</p> <p>※図示</p> <p>形状</p> <p>※図示</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <p>※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>目地部の力骨の補強方法</p> <p>※ガラスブロック製造所の仕様による</p> <p>・図示</p>	セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ	・125	※バランスタイプ	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形			・50		・パーチカル形		品 種	構成種類	性 能	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・I類	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収合わせガラス	・II-1類 ・II-2類 ・III類	材料板ガラスによる種類	種 類	性 能	・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類	・型板ガラス	・型板強化ガラス		品 種	性 能	色 調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	・熱線吸収網入磨き板ガラス			品 類	断熱性	日射熱遮へい性	・断熱複層ガラス	・1種 ・2種 ・3種	U1 U2 U-3-1 ・U-3-2	・日射熱遮へい複層ガラス	・4種 ・5種	E4 E5	品 類	日射熱遮へい性	耐久性	・熱線反射ガラス	・1種 ・2種	A種 A種 ・B種	・高性能熱線反射ガラス	・3種	B種	材料板ガラスによる種類の名称	色 調	・フロート倍強度ガラス	—	・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※標準仕様書16.14.11による ・図示	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※標準仕様書16.14.11による ・図示	ステンレス製	・シーリング材	※標準仕様書16.14.11による ・図示	表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調	目地幅 (mm)	伸縮調整	防火性能	・正方形	・125×125	80	・クリア 乳白	平縁目 15以下	※6mm以下 ごとに 10~25	※無し ・有り	・160×160	95	・ ・ ・	※15以下	・200×200	95	・ ・ ・	内削 ※6以上	・320×320	95	・ ・ ・	・	・長方形	・250×125	80	・ ・ ・	・			・320×160	95	・ ・ ・	・			<p>17 カーテンウォール工事</p> <p>1 取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)</p> <p>取付方法</p> <p>・層間方式 ・柱、梁方式 ・方立方式 ・スバンドレル方式</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">耐震性能</th> <th>水密性</th> <th>気密性</th> <th>遮音性</th> <th>断熱性</th> <th>耐火性能</th> <th>耐温度差性 (°C)</th> </tr> <tr> <td>水平方向 (kH)</td> <td>垂直方向 (kV)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1.0</td> <td>・0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・30分</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1時間</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・60</td> </tr> </table> <p>耐風圧性能</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <p>※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)</p> <table border="1"> <tr> <th>支点間距離 (h)</th> <th>耐風圧性能</th> <th>状 態</th> </tr> <tr> <td>4m以下</td> <td>・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること</td> <td>部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。</td> </tr> <tr> <td>4mを超える</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>層間変位追従性</p> <table border="1"> <tr> <th>建築物の構造種別</th> <th>層間変位量 (h=支点間距離)</th> <th>変位後の状態</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>・±(1/200)×h以上</td> <td>部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>・±(1/300)×h以上</td> <td>シーリングは補修程度の損傷であること。</td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>シーリング材</p> <p>下表以外は標準仕様書表9.7.1による</p> <table border="1"> <tr> <th>被着体の組合せ</th> <th>記号</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>石、タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール板間目地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラスの取付け</p> <p>構造ガasket</p> <p>・適用する (施工箇所 ・図示 ・)</p> <p>材質</p> <p>・クロロプレン系</p> <p>・EPDM系</p> <p>・シリコーン系</p> <p>形状</p> <p>・H型</p> <p>・Y型</p> <p>・C型</p> <p>寸法 (mm)</p> <p>ガラス板厚 ()</p> <p>・支持棒の厚さ ()</p> <p>・ウェブの寸法 ()</p> <p>・適用しない</p> <p>断熱材</p> <p>種類 ()</p> <p>厚さ (mm) ()</p> <p>施工箇所 ・図示</p> <p>耐火材料</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種 別</th> <th>規格帯</th> </tr> <tr> <td>・ファスナー部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・取付けブラケット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル目地部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間ふさぎ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>性能の確認方法及び判定方法</p> <p>・行う</p> <p>・行わない (資料による承諾)</p> <p>2 メタルカーテンウォール (17.2.2.3.5)</p> <p>カーテンウォールの材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>規格等</th> <th>表面処理</th> <th>映像調整</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※標準仕様書16.2.31による</td> <td>・A-1種</td> <td>・A-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>着色 (・アノダイング ・ブロンズ ・ブラス系 ・メタリック)</td> <td>・行わない</td> </tr> </table> <p>製品及び取付位置の寸法許容差</p> <p>※標準仕様書表17.2.1~3による</p> <p>ガラス溝の寸法、形状</p> <p>※製作所の仕様による</p> <p>3 PCカーテンウォール (17.3.2~5)</p> <p>カーテンウォールの材料</p> <p>コンクリート</p> <p>※標準仕様書17.3.2(a) (i) ~ (v)による</p> <p>鉄筋</p> <p>※SD295A (・D13 ・D10)</p> <p>補強鉄線の径 (mm)</p> <p>※3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0</p> <p>配筋</p> <p>※図示</p> <p>先付けの材料</p> <p>・サッシ枠</p> <p>・ゴンドラ用ガイドレール</p> <p>表面仕上げ材</p> <p>・磁器質タイル</p> <p>・石材 (・花こう岩 ・大理石)</p> <p>・</p> <p>構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm)</p> <p>・h=1~2, W1及びW2=±1</p> <p>製品及び取付位置の寸法許容差</p> <p>※標準仕様書表17.3.1~2による</p>	耐震性能		水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性 (°C)	水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)							・1.0	・0.5					・30分	・80	・	・					・1時間	・70	・	・						・60	支点間距離 (h)	耐風圧性能	状 態	4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。	4mを超える	・		建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	変位後の状態	鉄骨造	・±(1/200)×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。	鉄筋コンクリート造	・±(1/300)×h以上	シーリングは補修程度の損傷であること。	鉄骨鉄筋コンクリート造			被着体の組合せ	記号	シーリング材の種類	金属	ガラス		ガラス	石、タイル		カーテンウォール板間目地			施工部位	種 別	規格帯	・ファスナー部			・取付けブラケット			・パネル目地部			・層間ふさぎ			材 料	規格等	表面処理	映像調整	※アルミニウム製	※標準仕様書16.2.31による	・A-1種	・A-2種			・皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)	・行う			着色 (・アノダイング ・ブロンズ ・ブラス系 ・メタリック)	・行わない	<p>特記事項</p> <p>① 前野建築設計</p> <p>② 前野初像</p> <p>③ 前野将輝</p>	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</p> <p>株式会社 前野建築設計</p> <p>一級建築士 第117489号 前野 初 像</p> <p>一級建築士 第320204号 前野 将 輝</p>	<p>一級建築士 第360917号 前田 祐 作</p> <p>設計年月日 工事名称</p> <p>平成31年 3月 8日 西野公園便所 (北) 建替工事</p> <p>図面番号 A-06</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書No. 6</p> <p>縮 尺 NS</p>
	種類	材種	線径	網目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS 316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・防鳥網	ステンレス(SUS 304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	材 料	めっき付着量	厚 さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	※Z12又はF12	※標準仕様書																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)	※Y08	表16.4.2による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	合板の種類	樹種・規格等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7%合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1種 ・2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
自動ドア	性 能	防 錆	センサーの種類	凍結防止																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・SSLD-1	※標準仕様書16.9.1による		・マットスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・SSLD-2			・光線 (反射) スイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・DSL-1			・熱線スイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・DSL-2		・適用する	・音波スイッチ	・行う (適用箇所は建具表による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・SND-1	※標準仕様書16.9.2による	・適用しない	・光電スイッチ	・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・SND-1			・電波スイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・タッチスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・押しボタンスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・ペダルスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			・多機能トイレスイッチ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※スチールタイプ	・125	※バランスタイプ	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・50		・パーチカル形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
品 種	構成種類	性 能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・I類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収合わせガラス	・II-1類 ・II-2類 ・III類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材料板ガラスによる種類	種 類	性 能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・型板ガラス	・型板強化ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
品 種	性 能	色 調																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・熱線吸収網入磨き板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
品 類	断熱性	日射熱遮へい性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・断熱複層ガラス	・1種 ・2種 ・3種	U1 U2 U-3-1 ・U-3-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・日射熱遮へい複層ガラス	・4種 ・5種	E4 E5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
品 類	日射熱遮へい性	耐久性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・熱線反射ガラス	・1種 ・2種	A種 A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・高性能熱線反射ガラス	・3種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材料板ガラスによる種類の名称	色 調																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・フロート倍強度ガラス	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※標準仕様書16.14.11による ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※標準仕様書16.14.11による ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ステンレス製	・シーリング材	※標準仕様書16.14.11による ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調	目地幅 (mm)	伸縮調整	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・正方形	・125×125	80	・クリア 乳白	平縁目 15以下	※6mm以下 ごとに 10~25	※無し ・有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・160×160	95	・ ・ ・	※15以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・200×200	95	・ ・ ・	内削 ※6以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・320×320	95	・ ・ ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・長方形	・250×125	80	・ ・ ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・320×160	95	・ ・ ・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
耐震性能		水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性 (°C)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・1.0	・0.5					・30分	・80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・	・					・1時間	・70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・	・						・60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
支点間距離 (h)	耐風圧性能	状 態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4mを超える	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	変位後の状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
鉄骨造	・±(1/200)×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
鉄筋コンクリート造	・±(1/300)×h以上	シーリングは補修程度の損傷であること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
鉄骨鉄筋コンクリート造																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
被着体の組合せ	記号	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
金属	ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ガラス	石、タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
カーテンウォール板間目地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工部位	種 別	規格帯																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ファスナー部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・取付けブラケット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・パネル目地部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・層間ふさぎ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材 料	規格等	表面処理	映像調整																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※アルミニウム製	※標準仕様書16.2.31による	・A-1種	・A-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		・皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)	・行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		着色 (・アノダイング ・ブロンズ ・ブラス系 ・メタリック)	・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

④ 塗装工事	① 材料 (18.1.3)	<p>屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする</p> <p>・次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)</p>																																																		
	② 素地ごしらえ (18.2.2~7)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗りの場合</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>※C種・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき鋼面</td> <td></td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びブラスター面</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びALCパネル面</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及び目地: 継目処理工法</td> <td></td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>目地: 継目処理工法以外</td> <td>※B種・A種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等		種別	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種・B種		透明塗りの場合	※B種・A種	鉄鋼面		※C種・A種・B種	垂れめっき鋼面		・A種・B種	モルタル面及びブラスター面		※B種・A種	コンクリート面及びALCパネル面		※B種・A種	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・A種・B種	せっこうボード面及び目地: 継目処理工法		※A種・B種	その他ボード面	目地: 継目処理工法以外	※B種・A種																				
	下地面等		種別																																																	
	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種・B種																																																	
	透明塗りの場合	※B種・A種																																																		
鉄鋼面		※C種・A種・B種																																																		
垂れめっき鋼面		・A種・B種																																																		
モルタル面及びブラスター面		※B種・A種																																																		
コンクリート面及びALCパネル面		※B種・A種																																																		
コンクリート面及び押出成形セメント板面		・A種・B種																																																		
せっこうボード面及び目地: 継目処理工法		※A種・B種																																																		
その他ボード面	目地: 継目処理工法以外	※B種・A種																																																		
③ 錆止め塗料塗り (18.3.2.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th>工程の種別</th> <th>塗料の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>見え掛り部分</td> <td>※A種・B種</td> <td rowspan="2">/</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見え隠れ部分</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき鋼面</td> <td>鋼製建具</td> <td>※A種・B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製建具以外</td> <td>※B種・A種</td> <td>・B種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等		工程の種別	塗料の種類	鉄鋼面	見え掛り部分	※A種・B種	/		見え隠れ部分	※B種・A種	垂れめっき鋼面	鋼製建具	※A種・B種	・A種		鋼製建具以外	※B種・A種	・B種																																
下地面等		工程の種別	塗料の種類																																																	
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種・B種	/																																																	
	見え隠れ部分	※B種・A種																																																		
垂れめっき鋼面	鋼製建具	※A種・B種	・A種																																																	
	鋼製建具以外	※B種・A種	・B種																																																	
④ 塗装 (18.4.1~18.14.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・合成樹脂塗合</td> <td>木部屋外</td> <td>※A種・B種 ※1種・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木部屋内</td> <td>※B種・A種 ※1種・2種</td> </tr> <tr> <td>ペイント塗り(SOP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種・A種 ※1種・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>垂れめっき鋼面</td> <td>— ※1種・2種</td> </tr> <tr> <td>○クリヤラッカー塗り(GL)</td> <td></td> <td>※B種・A種 —</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)</td> <td></td> <td>※B種・A種 —</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>— 上塗り等級() 級</td> </tr> <tr> <td>・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>垂れめっき鋼面</td> <td>— 上塗り等級() 級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※A種・B種・C種 上塗り等級() 級</td> </tr> <tr> <td>・つや有合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-G)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種・A種 —</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td></td> <td>※B種・A種 —</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)</td> <td></td> <td>※B種・A種 —</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td></td> <td>※B種・A種 —</td> </tr> <tr> <td>・ラッカーエナメル塗り(LE)</td> <td></td> <td>※B種・A種 —</td> </tr> <tr> <td>○オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>屋外</td> <td>※B種・A種 —</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 ㊦ とする。</p>	塗装	種別	塗料の種類	・合成樹脂塗合	木部屋外	※A種・B種 ※1種・2種		木部屋内	※B種・A種 ※1種・2種	ペイント塗り(SOP)	鉄鋼面	※B種・A種 ※1種・2種		垂れめっき鋼面	— ※1種・2種	○クリヤラッカー塗り(GL)		※B種・A種 —	・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種・A種 —	鉄鋼面		— 上塗り等級() 級	・耐候性塗料塗り(DP)	垂れめっき鋼面	— 上塗り等級() 級		コンクリート面及び押出成形セメント板面	※A種・B種・C種 上塗り等級() 級	・つや有合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-G)	屋内の鉄鋼面	※B種・A種 —	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種・A種 —	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種・A種 —	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種・A種 —	・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種・A種 —	○オイルステイン塗り(OS)		—	○木材保護塗料塗り(WP)	屋外	※B種・A種 —
塗装	種別	塗料の種類																																																		
・合成樹脂塗合	木部屋外	※A種・B種 ※1種・2種																																																		
	木部屋内	※B種・A種 ※1種・2種																																																		
ペイント塗り(SOP)	鉄鋼面	※B種・A種 ※1種・2種																																																		
	垂れめっき鋼面	— ※1種・2種																																																		
○クリヤラッカー塗り(GL)		※B種・A種 —																																																		
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種・A種 —																																																		
鉄鋼面		— 上塗り等級() 級																																																		
・耐候性塗料塗り(DP)	垂れめっき鋼面	— 上塗り等級() 級																																																		
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※A種・B種・C種 上塗り等級() 級																																																		
・つや有合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-G)	屋内の鉄鋼面	※B種・A種 —																																																		
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種・A種 —																																																		
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種・A種 —																																																		
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種・A種 —																																																		
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種・A種 —																																																		
○オイルステイン塗り(OS)		—																																																		
○木材保護塗料塗り(WP)	屋外	※B種・A種 —																																																		

④ 内装工事	① 接着剤 (19.2.2)	<p>接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。</p>																																																																																						
	2 ビニル床シート ㊦ (19.2.2.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>JIS記号・種類</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発泡層のないもの</td> <td>※FS(複層)</td> <td></td> <td>・無地</td> <td>・帯電防止</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・マーブル柄</td> <td>・耐動荷重性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発泡層のあるもの</td> <td></td> <td></td> <td>・無地</td> <td>・防汚性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・柄物</td> <td>・耐薬品性</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:)</p> <p>特殊機能</p> <p>帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満</p> <p>又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 10^{10}$ Ω程度</p>	区分	JIS記号・種類	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考	発泡層のないもの	※FS(複層)		・無地	・帯電防止	※2.0					・マーブル柄	・耐動荷重性			発泡層のあるもの			・無地	・防汚性						・柄物	・耐薬品性																																																					
	区分	JIS記号・種類	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考																																																																																	
	発泡層のないもの	※FS(複層)		・無地	・帯電防止	※2.0																																																																																		
			・マーブル柄	・耐動荷重性																																																																																				
発泡層のあるもの			・無地	・防汚性																																																																																				
			・柄物	・耐薬品性																																																																																				
3 ビニル床タイル ㊦ (19.2.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>JIS記号・種類</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>寸法(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・FT(複層)</td> <td></td> <td>・無地</td> <td>・300×300</td> <td>・帯電防止</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・柄物</td> <td>・450×450</td> <td>・防汚性</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・防汚性</td> <td>・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・KT(コンポジション)</td> <td></td> <td>・無地</td> <td>・300×300</td> <td>・帯電防止</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・柄物</td> <td>・450×450</td> <td>・防汚性</td> <td>・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA(置敷き)</td> <td></td> <td>・無地</td> <td>・500×500</td> <td>・帯電防止</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・柄物</td> <td></td> <td>・防汚性</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>特殊機能</p> <p>帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満</p> <p>又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 10^9$ Ω程度</p>	JIS記号・種類	施工箇所	色柄	寸法(mm)	特殊機能	厚さ(mm)	備考	・FT(複層)		・無地	・300×300	・帯電防止	※2.0				・柄物	・450×450	・防汚性	・2.5						・防汚性	・3.0		・KT(コンポジション)		・無地	・300×300	・帯電防止	※2.0				・柄物	・450×450	・防汚性	・3.0		・FOA(置敷き)		・無地	・500×500	・帯電防止					・柄物		・防汚性																																	
JIS記号・種類	施工箇所	色柄	寸法(mm)	特殊機能	厚さ(mm)	備考																																																																																		
・FT(複層)		・無地	・300×300	・帯電防止	※2.0																																																																																			
		・柄物	・450×450	・防汚性	・2.5																																																																																			
				・防汚性	・3.0																																																																																			
・KT(コンポジション)		・無地	・300×300	・帯電防止	※2.0																																																																																			
		・柄物	・450×450	・防汚性	・3.0																																																																																			
・FOA(置敷き)		・無地	・500×500	・帯電防止																																																																																				
		・柄物		・防汚性																																																																																				
4 ビニル幅木 (19.2.2)	<p>材質 ・軟質 ・硬質</p> <p>高さ(mm) ※60 ・70 ・100</p> <p>厚さ(mm) ※1.5以上</p>																																																																																							
5 ゴム床タイル (19.2.2)	<p>色柄 ()</p> <p>厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0</p> <p>寸法(mm) ()</p>																																																																																							
6 カーペット敷き ㊦ (19.3.3.4)(表19.3.1.2)	<p>・織じゅうたん</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>織り方</th> <th>色柄等</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・カトバイル</td> <td>・タクトカーペット</td> <td>・無地</td> <td>・適用する</td> <td rowspan="3">(性能: ※人体帯電圧3kV以下)</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・メープバイル</td> <td>・ダブメープカーペット</td> <td>・柄物</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・カト、メープ併用</td> <td>・タクトメープカーペット(標準品)</td> <td>(標準品)</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td rowspan="3">(性能: ※人体帯電圧3kV以下)</td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4~6</td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・レペループバイル</td> <td>・4</td> <td></td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材(グリッパー工法の場合)</p> <p>※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>・ニードルパンチカーペット</p> <p>厚さ(mm) ()</p> <p>帯電性 ・適用する(性能: ※人体帯電圧3kV以下)</p> <p>・適用しない</p> <p>備考 ()</p> <p>・タイルカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し</p> <p>階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示)</p> <p>・適用しない</p>	種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考	・A種	・カトバイル	・タクトカーペット	・無地	・適用する	(性能: ※人体帯電圧3kV以下)	・B種	・メープバイル	・ダブメープカーペット	・柄物	・適用する	・C種	・カト、メープ併用	・タクトメープカーペット(標準品)	(標準品)	・適用しない	バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	・5~7	※全面接着工法	・適用する	(性能: ※人体帯電圧3kV以下)	・ループバイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用する	・レペループバイル	・4		・適用しない	・カット、ループ併用					バイル形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考	※ループバイル	・第一種		※500×500	※6.5			・第二種					・カットバイル	・第一種		※500×500	※6.5			・第二種					・カット、ループ併用	・第一種		※500×500	※6.5			・第二種				
種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考																																																																																			
・A種	・カトバイル	・タクトカーペット	・無地	・適用する	(性能: ※人体帯電圧3kV以下)																																																																																			
・B種	・メープバイル	・ダブメープカーペット	・柄物	・適用する																																																																																				
・C種	・カト、メープ併用	・タクトメープカーペット(標準品)	(標準品)	・適用しない																																																																																				
バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																																																																				
・カットバイル	・5~7	※全面接着工法	・適用する	(性能: ※人体帯電圧3kV以下)																																																																																				
・ループバイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用する																																																																																					
・レペループバイル	・4		・適用しない																																																																																					
・カット、ループ併用																																																																																								
バイル形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考																																																																																			
※ループバイル	・第一種		※500×500	※6.5																																																																																				
	・第二種																																																																																							
・カットバイル	・第一種		※500×500	※6.5																																																																																				
	・第二種																																																																																							
・カット、ループ併用	・第一種		※500×500	※6.5																																																																																				
	・第二種																																																																																							
⑦ 合成樹脂塗床 (19.4.2.3)(表19.4.1~8)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>弾性軟質樹脂系塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>○厚膜型塗床材</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法</td> <td>・平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>Is*樹脂塗床材</td> <td></td> <td>○厚膜流し展べ工法</td> <td>○防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・樹脂砂吹工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・7714樹脂塗床材 (JIS K 5970)</td> <td></td> <td>工法</td> <td>塗布量 (kg/m²)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・表面仕上げ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・平滑</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・防汚</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>溶剤</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・水性色</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・溶剤系</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無溶剤系</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>仕上げ色</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・標準色</td> </tr> </tbody> </table> <p>合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p>	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材			※平滑仕上げ	弾性軟質樹脂系塗床材			・防汚仕上げ				・つや消し仕上げ	○厚膜型塗床材		・薄膜流し展べ工法	・平滑仕上げ	Is*樹脂塗床材		○厚膜流し展べ工法	○防汚仕上げ			・樹脂砂吹工法		・薄膜型塗床材				・7714樹脂塗床材 (JIS K 5970)		工法	塗布量 (kg/m ²)				・表面仕上げ				・平滑				・防汚				溶剤				・水性色				・溶剤系				・無溶剤系				仕上げ色				・標準色															
種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																					
・厚膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																					
弾性軟質樹脂系塗床材			・防汚仕上げ																																																																																					
			・つや消し仕上げ																																																																																					
○厚膜型塗床材		・薄膜流し展べ工法	・平滑仕上げ																																																																																					
Is*樹脂塗床材		○厚膜流し展べ工法	○防汚仕上げ																																																																																					
		・樹脂砂吹工法																																																																																						
・薄膜型塗床材																																																																																								
・7714樹脂塗床材 (JIS K 5970)		工法	塗布量 (kg/m ²)																																																																																					
			・表面仕上げ																																																																																					
			・平滑																																																																																					
			・防汚																																																																																					
			溶剤																																																																																					
			・水性色																																																																																					
			・溶剤系																																																																																					
			・無溶剤系																																																																																					
			仕上げ色																																																																																					
			・標準色																																																																																					

8 フローリング張り	単層フローリング ㊦ (19.5.2~6)(表19.5.1~5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ(mm)</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法(根太張り)</td> <td>※なら</td> <td>・15</td> <td>幅75 板長さ500以上</td> <td>・塗装品</td> <td>・無塗装品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>※なら</td> <td>・12以上</td> <td>幅75 板長さ300以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>※なら</td> <td>・12以上</td> <td>幅75 板長さ300以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>・接着工法</td> <td>※なら</td> <td>15</td> <td>303×303</td> <td>・塗装品</td> <td>・無塗装品</td> </tr> <tr> <td>・モザイクパーケット1等</td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・塗装品</td> <td>・無塗装品</td> </tr> </tbody> </table> <p>複合フローリング ㊦</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ・大きさ(mm)</th> <th>種別</th> <th>防湿処理</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※天然木化粧</td> <td>・釘留め工法(根太張り)</td> <td>※なら</td> <td rowspan="3">板厚 ・8以上 ・幅 ・75以上 ・板長さ 900以上</td> <td>・A種</td> <td>・適用する</td> <td>・塗装品</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>※なら</td> <td>・B種</td> <td>・適用しない</td> <td>・無塗装品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>※なら</td> <td>・C種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>接着工法の場合の継ぎ材 ※合成樹脂発泡材</p> <p>現場塗装仕上 ・行う(施工箇所:)</p> <p>※ウレタン樹脂ワニス塗り</p> <p>・オイルステインの上、ワックス塗り</p> <p>・生地そのままワックス塗り</p> <p>・行わない</p>	種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	仕上塗装	間伐材等の適用	・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り)	※なら	・15	幅75 板長さ500以上	・塗装品	・無塗装品		・釘留め工法(直張り)	※なら	・12以上	幅75 板長さ300以上				・接着工法	※なら	・12以上	幅75 板長さ300以上			・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗装品	・無塗装品	・モザイクパーケット1等	・接着工法				・塗装品	・無塗装品	種類	工法	樹種	厚さ・大きさ(mm)	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用	※天然木化粧	・釘留め工法(根太張り)	※なら	板厚 ・8以上 ・幅 ・75以上 ・板長さ 900以上	・A種	・適用する	・塗装品			・釘留め工法(直張り)	※なら	・B種	・適用しない	・無塗装品		・接着工法	※なら	・C種											
	種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	仕上塗装	間伐材等の適用																																																																										
	・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り)	※なら	・15	幅75 板長さ500以上	・塗装品	・無塗装品																																																																										
		・釘留め工法(直張り)	※なら	・12以上	幅75 板長さ300以上																																																																												
	・接着工法	※なら	・12以上	幅75 板長さ300以上																																																																													
・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗装品	・無塗装品																																																																											
・モザイクパーケット1等	・接着工法				・塗装品	・無塗装品																																																																											
種類	工法	樹種	厚さ・大きさ(mm)	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用																																																																										
※天然木化粧	・釘留め工法(根太張り)	※なら	板厚 ・8以上 ・幅 ・75以上 ・板長さ 900以上	・A種	・適用する	・塗装品																																																																											
	・釘留め工法(直張り)	※なら		・B種	・適用しない	・無塗装品																																																																											
	・接着工法	※なら		・C種																																																																													
9 畳敷き (19.6.2)(表19.6.1)	<p>種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.11による床組</p> <p>・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン ㊦)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p>																																																																																
⑩ せっこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2.3)(表19.7.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JIS記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○硬質木毛セメント板 ㊦</td> <td>HW</td> <td>・15 ・20 ・25 ○18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板 ㊦</td> <td>MW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板 ㊦</td> <td>NW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板 ㊦</td> <td>HF</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・けい酸系合板</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>4472(無石綿)</td> <td>・6 ・8</td> </tr> <tr> <td>・ロック化化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・75×75(・9(不燃)・12・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・凹凸75(・12(不燃)・15・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロック化吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス繊維吸音ボード32K</td> <td>GW-B</td> <td>・25(ガラス繊維)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>・12.5(不燃)・15(不燃)</td> <td>(19.8.2.3)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5(不燃)化粧無(下地張り用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧有(15×75仕様)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ノンフロンせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・12.5(不燃)・15(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・せっこう繊維ボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード(木目)</td> <td>GB-D</td> <td>12.5(不燃) 幅40mm程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>模様(・柱目・板目)専用下地材有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード(15×75仕様)</td> <td>GB-D</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○普通合板 ㊦</p> <p>表面の材質</p> <p>生地、透明塗料塗り</p> <p>(※ツラツラ)</p> <p>不透明塗料塗り</p> <p>(※しな程度)</p> <p>板面の品質(1等)</p> <p>厚さ(mm) (5.5mm)</p> <p>(19.9.2.3)</p> <p>接合の程度()</p> <p>・防虫処理</p> <p>・天然木化粧合板 ㊦</p> <p>樹種名()</p> <p>接着の程度(・1類・2類)</p> <p>厚さ(mm) ()</p> <p>・防虫処理</p> <p>・特殊加工化粧合板 ㊦</p> <p>化粧加工の方法</p> <p>(・オパール・プリント・塗装)</p> <p>表面性能()タイプ</p> <p>接合の程度(・1類・2類)</p> <p>厚さ(mm) ()</p> <p>・防虫処理</p> <p>○樹脂樹脂化粧板</p> <p>・メタクリル樹脂化粧板</p> <p>・MDF</p> <p>・3 ・7 ・9 ・12</p>	種類	JIS記号	厚さ(mm)	規格等	○硬質木毛セメント板 ㊦	HW	・15 ・20 ・25 ○18		・中質木毛セメント板 ㊦	MW	・15 ・20 ・25		・普通木毛セメント板 ㊦	NW	・15 ・20 ・25		・硬質木片セメント板 ㊦	HF	・12 ・15 ・18 ・21		・普通木片セメント板	NF	・30		・けい酸系合板	0.8FK 1.0FK	4472(無石綿)	・6 ・8	・ロック化化粧吸音板	DR	・75×75(・9(不燃)・12・)				・凹凸75(・12(不燃)・15・)		・ロック化吸音ボード1号	RW-B	・25		・ガラス繊維吸音ボード32K	GW-B	・25(ガラス繊維)		・せっこうボード	GB-R	・12.5(不燃)・15(不燃)	(19.8.2.3)	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃)化粧無(下地張り用)				化粧有(15×75仕様)		○ノンフロンせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)		・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃)・15(不燃)		・せっこう繊維ボード	GB-L	9.5		・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃) 幅40mm程度				模様(・柱目・板目)専用下地材有り		・化粧せっこうボード(15×75仕様)	GB-D	9.5(準不燃)	
種類	JIS記号	厚さ(mm)	規格等																																																																														
○硬質木毛セメント板 ㊦	HW	・15 ・20 ・25 ○18																																																																															
・中質木毛セメント板 ㊦	MW	・15 ・20 ・25																																																																															
・普通木毛セメント板 ㊦	NW	・15 ・20 ・25																																																																															
・硬質木片セメント板 ㊦	HF	・12 ・15 ・18 ・21																																																																															
・普通木片セメント板	NF	・30																																																																															
・けい酸系合板	0.8FK 1.0FK	4472(無石綿)	・6 ・8																																																																														
・ロック化化粧吸音板	DR	・75×75(・9(不燃)・12・)																																																																															
		・凹凸75(・12(不燃)・15・)																																																																															
・ロック化吸音ボード1号	RW-B	・25																																																																															
・ガラス繊維吸音ボード32K	GW-B	・25(ガラス繊維)																																																																															
・せっこうボード	GB-R	・12.5(不燃)・15(不燃)	(19.8.2.3)																																																																														
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃)化粧無(下地張り用)																																																																															
		化粧有(15×75仕様)																																																																															
○ノンフロンせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)																																																																															
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃)・15(不燃)																																																																															
・せっこう繊維ボード	GB-L	9.5																																																																															
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃) 幅40mm程度																																																																															
		模様(・柱目・板目)専用下地材有り																																																																															
・化粧せっこうボード(15×75仕様)	GB-D	9.5(準不燃)																																																																															

11 壁紙張り	せっこうボード等の下地は図示による。																																	
	<p>適宜シール材</p> <p>・適用する(・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)</p> <p>・適用しない</p> <p>※規制対象外</p> <p>合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>合板類の張付け ※B種 ・A種</p> <p>せっこうボードの目地工法 ・仕上げ表による</p>																																	
	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>壁紙の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>紙</th> <th>織</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> <th>防火種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	紙	織	プラスチック	無機質	その他	防火種別	備考		・	・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃			・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		
	施工箇所	紙	織	プラスチック	無機質	その他	防火種別	備考																										
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																												
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																												
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																												
(19.5.2.3)																																		
12 断熱材 ㊦	<p>モルタル及びブラスター面の素地ごしらえ ※B種 ・A種</p> <p>コンクリート面及びALC面の素地ごしらえ ※B種 ・A種</p> <p>せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種</p>																																	
	<p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレン断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレン断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレン断熱材(スワナシ)</td> <td>・保温板(2種B)</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・保温板(3種B)</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレン断熱材(スワナシ)</td> <td></td> <td>・接地部分</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリウレタン断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種硬質ポリウレタン断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・7714断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・7714断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・7714断熱材(3種2号を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	厚さ(mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレン断熱材			・ビーズ法ポリスチレン断熱材			・押出法ポリスチレン断熱材(スワナシ)	・保温板(2種B)	・25		・保温板(3種B)	・25	・押出法ポリスチレン断熱材(スワナシ)		・接地部分	・硬質ポリウレタン断熱材			・A種硬質ポリウレタン断熱材			・7714断熱材			・7714断熱材			・7714断熱材(3種2号を除く)		
	種類	厚さ(mm)	施工箇所																															
	・ビーズ法ポリスチレン断熱材																																	
・ビーズ法ポリスチレン断熱材																																		
・押出法ポリスチレン断熱材(スワナシ)	・保温板(2種B)	・25																																
	・保温板(3種B)	・25																																
・押出法ポリスチレン断熱材(スワナシ)		・接地部分																																
・硬質ポリウレタン断熱材																																		
・A種硬質ポリウレタン断熱材																																		
・7714断熱材																																		
・7714断熱材																																		
・7714断熱材(3種2号を除く)																																		
(19.9.2.3)																																		
<p>断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類 ※A種1 ・B種1</p> <p>厚さ(mm) ・25 ・30</p> <p>施工箇所 ・図示</p>																																		

特記事項	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</p> <p>株式会社 前野建築設計</p> <p>一級建築士 第117489号 前野 初 俊</p>	<p>一級建築士 第360917号</p> <p>前田 祐 作</p>	<p>設計年月日 平成31年 3月 8日</p>	<p>工事名称 西野公園便所(北) 建替工事</p>	<p>図面番号 A-07</p>
	<p>一級建築士 第117489号 前野 初 俊</p> <p>一級建築士 第320204号 前野 得 輝</p>	<p>図面名称 建築工事特記仕様書No. 7</p>	<p>縮尺 NS</p>		

② 排水工事	① 屋外雨水排水 (21.2.1) (表21.2.1)	<p>排水管材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>・外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>○VP</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・VU</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RS-VU</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>・DV</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 ○図示 排水溝の種類 ○図示 砂地業に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.1) (g) (1) 図示 砂利地業に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.1) (g) (2) 図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度18N/mm²とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の割合 (容積比) セメント1:砂2:砂利4程度とする。図示 凍上抑制層 (21.2.1) (表21.2.2) 厚さ 図示 材料 ・再生クラッシュラン[㊟] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) 砂の粒度試験 行う 行わない</p>	材種	管の種類	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管 (1種)	・B形管	・図示	・	○硬質ポリ塩化ビニル管	○VP		・図示	・		・VU		・図示	・		・RS-VU		・図示	・	・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV		・図示	・
	材種	管の種類	形状	呼び径	備考																											
	・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管 (1種)	・B形管	・図示	・																											
	○硬質ポリ塩化ビニル管	○VP		・図示	・																											
		・VU		・図示	・																											
		・RS-VU		・図示	・																											
	・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV		・図示	・																											
	2 鉄製ふた (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鉄製マンホールふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (バッキン式) ・密閉形 (テーパ・バッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・バッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による</td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (バッキン式) ・密閉形 (テーパ・バッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・バッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による																				
	名称	種類	適用荷重	鍵	備考																											
	鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (バッキン式) ・密閉形 (テーパ・バッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・バッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による																											
③ グレーチング (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>面給めつき (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ※普通目 ・細目</td> <td>・ ()</td> <td>・凹凸形 ・</td> </tr> <tr> <td>○ステンレス製</td> <td>○受枠付き、ボルト固定</td> <td>○溝ふた (横断用) ○溝ふた (側溝用) ○樹ふた用 ○U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・凹凸形 ・ ・平形 ・</td> </tr> </table>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	面給めつき (付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ※普通目 ・細目	・ ()	・凹凸形 ・	○ステンレス製	○受枠付き、ボルト固定	○溝ふた (横断用) ○溝ふた (側溝用) ○樹ふた用 ○U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・ ・平形 ・										
材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	面給めつき (付着量)	上面形状																										
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ※普通目 ・細目	・ ()	・凹凸形 ・																										
○ステンレス製	○受枠付き、ボルト固定	○溝ふた (横断用) ○溝ふた (側溝用) ○樹ふた用 ○U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・ ・平形 ・																										
4 街きよ、緑石、側溝 (21.3.1) (表21.3.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>地業の材料 ※標準仕様書 (4.6.2) (a)による 図示 砂利地業の厚さ ※100 (mm) 図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度18N/mm²とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の割合 (容積比) セメント1:砂2:砂利4程度とする。図示 凍上抑制層 (21.2.1) (表21.2.2) 厚さ 図示 材料 ・再生クラッシュラン[㊟] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) 砂の粒度試験 行う 行わない</p>	種類	形状、寸法	・緑石	・図示	・L形側溝	・図示	・U形側溝	・図示	・U形側溝ふた	・図示	・	・図示																			
種類	形状、寸法																															
・緑石	・図示																															
・L形側溝	・図示																															
・U形側溝	・図示																															
・U形側溝ふた	・図示																															
・	・図示																															
5 埋戻し土 (21.2.1)	※B種																															

② 舗装工事	1 路床 (22.2.2, 3, 5)	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[㊟]</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン[㊟] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>路床安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種[㊟] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 () 添加量 kg (目標CBR 5以上) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m²以上 厚さ (mm) 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 1.5×10⁻¹ cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 行う 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 (現場密度) 行う 行わない</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [㊟]	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [㊟] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・図示	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示							
	種別	材料	厚さ (mm)																		
	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [㊟]	・図示																		
	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [㊟] ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・図示																		
	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・図示																		
	② 路盤 (22.3.2, 3, 5) (表22.3.1)	<p>路盤の厚さ 図示 路盤材料 砕石 ○再生クラッシュラン RC40[㊟] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ[㊟] ・ 図示</p> <p>試験 路盤締固め度の試験 ※行う 行わない</p>																			
	③ アスファルト舗装 (22.4.2~6) (表22.4.1~4)	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料 アスファルト ○再生アスファルト[㊟] ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材[㊟]</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>○一般地域</td> <td>○密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・寒冷地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> </table> <p>シールコートの施工 ・行う 行わない</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	区分	地域	種類	表層	○一般地域	○密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)		・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)										
	区分	地域	種類																		
	表層	○一般地域	○密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)																		
		・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)																		
4 コンクリート舗装 (22.5.2~4, 6) (表22.5.1~3)	<p>コンクリート舗装の厚さ</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>歩行者用通路</td> <td>※70 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>車路及び駐車場</td> <td>・150 図示</td> </tr> </table> <p>寒冷地の締部立下り寸法等 図示 材料 コンクリート ・標準仕様書表22.5.2による 早強セメント ・使用しない 注入地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による 図示 試験 コンクリート版厚さの試験 行う 行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	舗装の種類	部位	厚さ (mm)	コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 図示		車路及び駐車場	・150 図示											
舗装の種類	部位	厚さ (mm)																			
コンクリート舗装	歩行者用通路	※70 図示																			
	車路及び駐車場	・150 図示																			
5 カラー舗装 (22.6.2~4) (表22.6.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類・工法</th> <th>部位</th> <th>基層</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・加熱系</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>・車道及び駐車場</td> <td>・無し 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・歩行者用通路</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・常温系</td> <td>・ニート工法</td> <td></td> <td>・アスファルト舗装 3~5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・塗布工法</td> <td></td> <td>・コンクリート舗装 1程度以下</td> </tr> </table> <p>舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 (22.4.2(c))による 材料 加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 () ・自然石 () 配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ニート工法及び塗布工法の配合等 試験 加熱系 標準仕様書 (22.4.6(a)~(c)) 抽出試験 行う 行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	種類・工法	部位	基層	厚さ (mm)	・加熱系	・アスファルト混合物	・車道及び駐車場	・無し 図示		・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路	・	・常温系	・ニート工法		・アスファルト舗装 3~5		・塗布工法		・コンクリート舗装 1程度以下
種類・工法	部位	基層	厚さ (mm)																		
・加熱系	・アスファルト混合物	・車道及び駐車場	・無し 図示																		
	・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路	・																		
・常温系	・ニート工法		・アスファルト舗装 3~5																		
	・塗布工法		・コンクリート舗装 1程度以下																		
6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2, 3, 6)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの</p>	材料	厚さ (mm)	ストレートアスファルト	・図示																
材料	厚さ (mm)																				
ストレートアスファルト	・図示																				

7 ブロック系舗装 (22.8.2, 3)	<p>・コンクリート平板舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※普通平板 (N) ・透水平板 (P)</td> <td>※300角</td> <td>・60</td> <td>※砂 ・モルタル</td> <td>表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> </table> <p>歩行者用通路に使用するコンクリート平板は [㊟] (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。透水平板は [㊟] (透水性コンクリート) とする。仕上がり面の平たん性 ※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内</p> <p>・インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P)</td> <td>車路 歩行者用通路</td> <td>※80 ※60</td> <td>※5.0 ※3.0</td> <td>色彩、表面加工 ・標準品</td> </tr> </table> <p>歩道部に使用するブロックは [㊟] (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。透水平板は [㊟] (透水性コンクリート) とする。仕上がり面の平たん性 ※歩行に支障のないものとし、ブロック間の段差3mm以内</p> <p>・舗石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層 (mm)</th> </tr> <tr> <td>・小舗石 (花崗岩)</td> <td>・</td> <td>・80</td> <td>・うろこ張り</td> <td>・コンクリート舗装 (※70) ・アスファルト舗装 (※50)</td> </tr> </table> <p>仕上がり面の平たん性 ※歩行に支障のないものとし、舗石間の段差3mm以内 ・ジオテキスタイル 品質 単位面積質量 60g/m²以上 厚さ (mm) 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 1.5×10⁻¹ cm/sec以上</p> <p>試験 舗石の強度試験 行う 行わない 舗石の支持力比 (CBR) 試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 (現場密度) 行う 行わない</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	※普通平板 (N) ・透水平板 (P)	※300角	・60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	種類	部位	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P)	車路 歩行者用通路	※80 ※60	※5.0 ※3.0	色彩、表面加工 ・標準品	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層 (mm)	・小舗石 (花崗岩)	・	・80	・うろこ張り	・コンクリート舗装 (※70) ・アスファルト舗装 (※50)
	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																										
	※普通平板 (N) ・透水平板 (P)	※300角	・60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																										
	種類	部位	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																										
	※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P)	車路 歩行者用通路	※80 ※60	※5.0 ※3.0	色彩、表面加工 ・標準品																										
	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層 (mm)																										
	・小舗石 (花崗岩)	・	・80	・うろこ張り	・コンクリート舗装 (※70) ・アスファルト舗装 (※50)																										
	8 砂利敷き (22.9.2)	<p>種類 ・A種 (施工範囲: 図示 通路) ・B種 (施工範囲: 図示 建物周囲)</p>																													
	9 路面標示用塗料 (22.9.2)	<p>JIS K 5665 (路面標示用塗料) による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・1種 [㊟]</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・白</td> <td>・150</td> <td>・1.0</td> </tr> <tr> <td>・2種 [㊟]</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td>・100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・3種1号</td> <td>溶解</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>[㊟] 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・1種 [㊟]	常温	液状	・白	・150	・1.0	・2種 [㊟]	加熱			・100	・	・3種1号	溶解	粉体状								
	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																									
・1種 [㊟]	常温	液状	・白	・150	・1.0																										
・2種 [㊟]	加熱			・100	・																										
・3種1号	溶解	粉体状																													

23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等 (23.1.3)	<p>土壤の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 行う 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 行う 行わない</p>											
	2 植栽整備 (23.2.2, 4)	<table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td>・樹木</td> <td>※A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)</td> <td>・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>※芝、地被類 ※B種 ※20 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・ 適用しない</p> <p>植栽整備の排水設備 ・設ける (※図示) ・ 設けない</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない	
	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材								
	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上~12m未満 (※80・100) 樹高3m以上~7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する ・適用しない								
	3 植込み用土 (23.2.3)	※現場発生の良質土 ・客土											
	4 土壌改良材 (23.2.3)	<p>・バーク堆肥[㊟] 施工箇所 ※植栽範囲 図示 使用量 植栽整備面積1㎡あたり (・10 l)</p> <p>・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) [㊟] 施工箇所 ※植栽範囲 図示 使用量 植栽整備面積1㎡あたり (・10 l) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の結果、害が認められないものとする</p>											
	5 樹木 (23.3.2)	<p>樹種、寸法、株立数等 ※図示</p>											
	6 支柱 (23.3.2, 3)	<p>支柱材 ※丸太 (間伐材) [㊟] ・真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 図示</p>											
	7 幹巻き用材料 (23.3.2)	材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも											
	8 芝 (23.4.2)	<p>種類 ※コウライシバ ・ノシバ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ・目地張り ※べた張り</p>											
9 吹付けは種 (23.4.2)	<table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上			・	・		
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考										
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上												
・	・												
10 地被類 (23.4.2)	<table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数	・	・	・	・	・	・	・	・
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数										
・	・	・	・										
・	・	・	・										
11 新植、移植樹木、芝等の保証 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7)	<p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の植栽後の期間 ※引渡しの日から1年 無し 移植樹木の植栽位置を行う期間 ※引渡しの日から1年 無し</p>												
12 屋上緑化 [㊟] (23.5.2, 3)	<p>植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ 図示 排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・人口軽量土 樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p> <p>工法 (23.5.4) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 値の 風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない</p> <p>支柱 ・設置する (形式 図示) かん水装置 ・設置する (種類)</p>												

特記事項	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝</p>	<p>一級建築士 第360917号 前田 祐 作</p>	設計年月日	工事名称	西野公園便所 (北) 建替工事	図面番号	A-09
	平成31年 3月 8日	図面名称	建築工事特記仕様書No. 9	縮尺	NS		

I. 工事名	西野公園便所（北）建替工事
II. 工事概要	
1 工事場所	三重県亀山市野村2丁目 地内
2 敷地面積	65,846.84 m ²
3 工事内容	
構造:	プレハブ造 平屋建
建築面積:	約21.6 m ²
延面積:	約21.6 m ²
工事項目:	解体工事
III. 解体工事仕様	
1 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書、建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）、建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）、建築工事における建設副産物管理マニュアル・同解説（平成18年版）による。
2 特記仕様	1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し※印の付いたものは適用しない。

II 建築工事仕様	
1. 共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（平成28年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（平成28年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。
2. 特記仕様	1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の []、() 及び < > 内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
I	① 適用基準	※産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」及び「三重県副産物処理基準」に基づき適正に処理すること。
	② 工事実績情報の登録等	・ 請負者は受注時において工事請負代金額が500万円以上の工事について（財）日本建設情報総合センター（以下「JACIC」という。）が運営する工事実績情報サービス（CORINS）に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時においては、変更があった日から10日以内に、完成時においては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。ただし、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。
	③ 発生材の処理等	・ 引渡を要するもの（ ） ・ 特別管理産業廃棄物 ※有（ ） ・ 無（ ） 処理方法（ ） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ 再生資材の利用を図るもの ・ アスファルトコンクリート塊 ・ セメントコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ 引渡を要するもの、再生資源の利用を図るものについては調書作成し監督員へ提出すること。 ・ 引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適切処理し、監督員に報告する。（マニフェストA、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。）

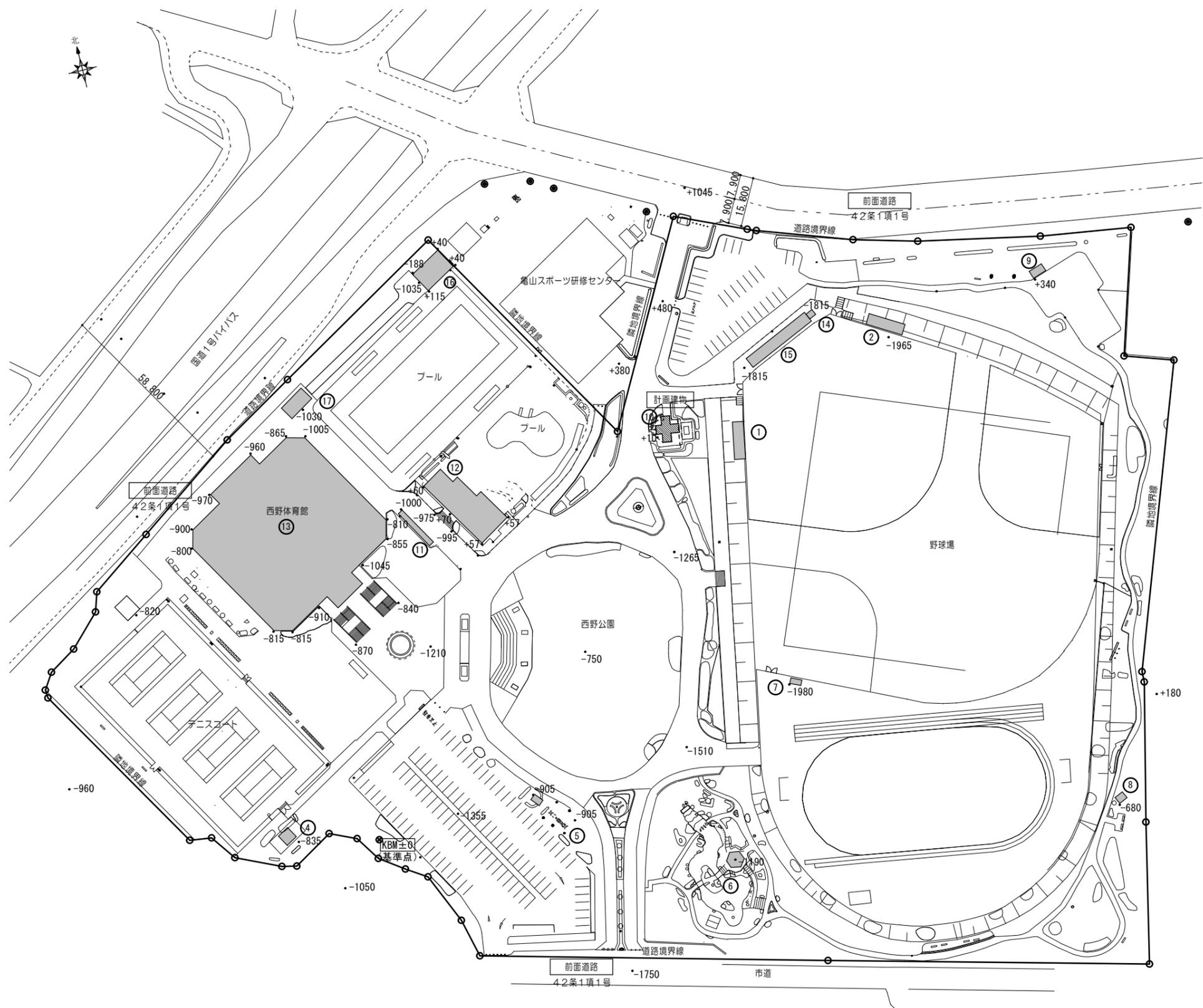
④ 建設副産物情報交換システム利用	※請負者は受注時において延べ面積が80m ² 以上かつ500万円以上の解体工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出する。また、工事完了後はJACIC（財）日本建設情報総合センター）が運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。
⑤ 三重県産業廃棄物税	※本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
⑥ 疑義	※設計図書に明記のない場合、または、疑いを生じた場合は、監督員と協議しその指示を受けてから施工すること
⑦ 工事時期	※日曜日、祝日は休日とし、作業時間は原則として午前8時30分から午後5時までとする。
⑧ 危険災害の防止	※工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、請負者が誠意をもって解決すること。 ※重機搬出時、発生材搬出時、仮設材搬出時には交通整理のための誘導員を配置すること。
⑨ 工事進入路	※重機搬出、産業廃棄物搬出経路については、事前に施工計画書を提出し監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出する土砂により工事用進入路を汚した場合は速やかに清掃を行うこと。
⑩ 工事写真	※着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。 ※工事中：随時撮影を行うほか、監督員の指示による。 ※上記すべてが「A」版で一部提出すること。
11. 完成写真	※台紙貼り1部（A・B・C版） ※全景写真のほか、監督員の指示による。
⑪ 電子納品	・ 工事写真は三重県CALIS電子納品マニュアル、デジタル写真管理情報基準（案）に基づき納品すること。 （提出部数 ※3部 ・ 部） ・ 工事完成図書については、工事完成図書電子納品要領（営繕版）に基づき電子納品すること。 （提出部数 ※3部 ・ 部）
⑫ 事故報告	※工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに事故発生報告書（三重県公共工事共通仕様書第13号様式）を監督員に速やかに提出すること。また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況、聴取、調査、検証等に協力すること。
⑬ 提出書類	※施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報、マニフェスト（E票）の写し、その他監督員の指示するものとする。
⑭ 産業廃棄物	※施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。
⑮ 電気保安技術者	○適用する ・ 適用しない [1.3.3]

⑯ 仮囲い	○ 設ける（位置、延長等は図示） ・ 万能鋼板（H= ） ・ 波形鉄板（H= ） ・ 単管シート（H= ） ・ 防音シート（H= ） ・ 防音パネル（H= ） ○ パネルゲート（H= ） × 箇所 ・ シートゲート（H= ） × 箇所 ・ 設けない
⑰ 騒音、防塵等の対策	※ 設ける（適用範囲、高さ等は図示） ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 設けない [2.2.1]
⑱ 交通誘導員	○ 配置する（15日 × 2人 = 30人日） ・ 配置しない
⑲ 監督職員事務所	・ 設ける ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する（規模 20 m ² 程度） ・ 備え付ける備品（ ） ※ 設けない
⑳ 工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できる（ ○ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない
㉑ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる（ ○ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない
㉒ 工事用通路	○ 指定しない ・ 指定する（図示）
㉓ 足場その他	内部足場 ・ 脚立、足場板等 ・ 外部足場 ※ A種 施工個所面に枠組足場を設ける。 ・ B種 施工個所面にくさび緊結式足場を設ける。 ・ C種 仮設ゴンドラを使用する。 ・ D種 移動式足場を使用する。 ・ 図示による
㉔ 防護シート	・ 設ける（ ・ 防音シート ・ その他） ・ 設けない
㉕ 材料の運搬	・ A種 ・ B種 ・ C種 <表2.2.1> ・ D種 ・ E種
㉖ その他	足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。 ・ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施設できる小屋等に保管すること。 ・ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ・ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ・ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。
3	
① 解体工法	※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準（建設リサイクル法規則第2条）」による。
② 施工計画書等	工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。 [1.2.1.2]
③ 杭	杭の解体 ・ 行う（※杭頭から mまで ・ 全長） [3.9.2]
④ 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ○ 行う（ / 外構図による） [3.10.1]
⑤ 地下埋設物の埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う（ / 図による） [3.11.1]
⑥ 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛り土 ○ 行う 埋戻し及び盛り土の材料 (3.2.3) (表3.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの（粒径40mm以下）を使用する。 埋戻し範囲 ○ 図示による C種の場合 建設発生土受入量 m ³ 発生場所 受入条件 整地の高さ ○ 現状GL ・ 図示（ / 図による）

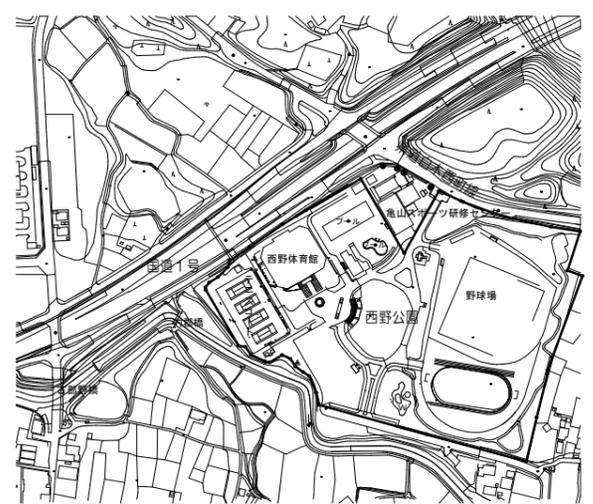
3	1. 再資源化等	[4.4.1(a)(b)] 建設廃棄物の種類 中間処理施設又は再資源化施設の名称等 所在地 (km) ・ コンクリート ・ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・ アスファルト、コンクリート ・ 木材 ・ 金属類 ・ 小型二次電池
		[4.4.1(c)] 建設廃棄物の種類 再資源化の有無 再資源化施設の名称等 所在地 (km) ・ 蛍光灯 ・ HIDランプ ・ 硬質塩化ビニル管・継手 ・ ガラス ・ する ・ しない ・ する ・ しない ・ する ・ しない
		[4.4.1(f)] 現場利用する再資源化された建設廃棄物の種類 利用する場所(箇所)等
		※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生材クラッシュラン(0~40)として利用する場合は、標準仕様書(表22.3.1)の再生材クラッシュランによることとし、すりへり減量を50%以下にすること。
	2. 産業廃棄物広域認定制度の活用	[4.4.2] 種類 所在地等 (km)
	3. 最終処分	[4.4.4] ・ (安定型) 種類 受入施設名称等 所在地(Km) 備考
		・ (管理型) (遮断型) 種類 受入施設名称等 所在地(Km) 備考
	4. 処分に注意を要する建設廃棄物	[4.5.1] 種類 処理施設名称等 所在地(Km) 備考 ・ CCA処理木材 ・ ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード <対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月~平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード(株) 八戸工場 平成4年10月~平成9年4月の間に製造されたもの
	5	[5.1.2] 材料名 仕様等(型式、厚さ、数量) 調査の範囲 ※ 図示 ・ 工事対象範囲
		[5.1.3][1.2.2(a)][5.4.1] ※ 種類別に具体的な処理、回収計画を定め施工計画書に記載する。 特別管理産業廃棄物の種類 処分場の名称 所在地等 (km)
	3. PCBを含む機器類等	PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器 ・ 有(数量:) [5.4.3] ・ 無 PCB含有シーリング材 ・ 有(施工範囲は図示) [5.4.4] ・ 無
	4. 廃油	・ 熱源の残油の処理(オイルタンク及び配管内含む) [5.4.5] ・ タンク内部の清掃 行う
	5. 廃酸	・ 臭化リチウム改修、破壊処理 対象機器 () [5.4.6]
	6. ダイオキシソリン類	回収・処理方法 ※図示による [5.4.7]

特記事項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝	一級建築士 第360917号 前田 祐 作	設計年月日	工事名称	西野公園便所（北）建替工事	図面番号	A-10
			平成31年 3月 8日	図面名称	解体工事特記仕様書№.1	縮尺	NS

6	1. 一般事項	<p>石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。</p> <p>施工調査 <9.1.1(d)></p> <ul style="list-style-type: none"> 行わない ※ 行う (調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。) <p>調査箇所 ※ 図示 ()</p> <p>調査事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ アスベスト含有建材等の使用部位 ※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 廃棄物などの搬出方法 <p>アスベスト含有分析 <9.1.1(d)></p> <ul style="list-style-type: none"> 行わない ※ 行う (分析結果は監督職員に提出する。) <p>分析方法 ※ JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有測定法」 第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 JIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有測定法」 第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ (試料数:)</td> <td>・ (試料数:)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ (試料数:)</td> <td>・ (試料数:)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ (試料数:)</td> <td>・ (試料数:)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ (試料数:)</td> <td>・ (試料数:)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定 <9.1.1(e)></p> <ul style="list-style-type: none"> 行わない ※ 行う (測定する時期・場所等は下表による) 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部- :光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>適用名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> <th>室名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">測定1</td> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td rowspan="2">処理作業室内 (注1)</td> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定3</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td rowspan="2">処理作業室内 (注1)</td> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定4</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)</td> <td>※ 1点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 1点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定5</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">負圧・粉じん装置の排出口 (除じん装置の性能確認)</td> <td>※ 1点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 1点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定6</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定7</td> <td rowspan="2">処理作業後 シート撤去前</td> <td rowspan="2">処理作業室内</td> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定8</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定9</td> <td rowspan="2">処理作業後 シート撤去後</td> <td rowspan="2">処理作業室内</td> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>※ 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align:center">測定点総計</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。</p> <p>(例)アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>測定点</th> <th>測定1</th> <th>測定2</th> <th>測定3</th> <th>測定4</th> <th>測定5</th> <th>測定6</th> <th>測定7</th> <th>測定8</th> <th>測定9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計機器</td> <td colspan="9">位相差・分散顕微鏡</td> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルタの直径</td> <td colspan="9">25mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 L/min</td> <td>5 L/min</td> <td>10 L/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5min</td> <td>120min</td> <td>240min</td> <td>240min</td> <td>240min</td> <td>240min</td> <td>240min</td> <td>240min</td> <td>240min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="9">アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="9">総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td colspan="9">幅3µm未満、長さ5µm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50本/L</td> <td>0.47本/L</td> <td>0.3本/L</td> <td>0.3本/L</td> <td>0.3本/L</td> <td>0.3本/L</td> <td>0.3本/L</td> <td>0.3本/L</td> <td>0.3本/L</td> </tr> </tbody> </table> <p>記録する項目</p> <p>ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置 (測定高さとともに図面に記載する。) エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風量</p> <p>測定機関 <9.1.1(e)> 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		・ (試料数:)	・ (試料数:)		・ (試料数:)	・ (試料数:)		・ (試料数:)	・ (試料数:)		・ (試料数:)	・ (試料数:)	適用名称	測定時期	測定場所	測定点	室名等	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※ 2点	点	※ 2点	点	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点	点	※ 2点	点	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※ 2点	点	※ 2点	点	測定4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※ 1点	点	※ 1点	点	測定5		負圧・粉じん装置の排出口 (除じん装置の性能確認)	※ 1点	点	※ 1点	点	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点	点	※ 2点	点	測定7	処理作業後 シート撤去前	処理作業室内	※ 2点	点	※ 2点	点	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点	点	※ 2点	点	測定9	処理作業後 シート撤去後	処理作業室内	※ 2点	点	※ 2点	点	測定点総計					測定点	測定1	測定2	測定3	測定4	測定5	測定6	測定7	測定8	測定9	設計機器	位相差・分散顕微鏡									メンブレンフィルタの直径	25mm									試料の吸引流量	1 L/min	5 L/min	10 L/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法									計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野									計数アスベスト	幅3µm未満、長さ5µm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上									定量限界	50本/L	0.47本/L	0.3本/L	<p>2. 除去工事 共通事項</p> <p>専門工事業者 <9.1.2(a)> アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。</p> <p>作業主任者の選出 <9.1.2(b)> 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。</p> <p>除去作業者の教育 <9.1.2(c)> 作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2(d)> 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。</p> <p>表示及び掲示 <9.1.2(f)> 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立入禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱い上の注意事項 ※ 使用すべき保護具</p> <p>周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等)」</p> <p>保護具、保護衣 <9.1.2(g)> 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。</p> <p>除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 <9.1.3(c)><9.1.4(d)><9.1.5(f)> ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。</p> <p>アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9.1.3(b)> ・ 行う (適用範囲・図示) ・ 行わない</p> <p>作業場等の隔離等 <9.1.3(a)> ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。</p> <p>隔離シートの性能</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>※ 床面</td> <td>※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重</td> </tr> <tr> <td>※ 壁面</td> <td>※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。</p> <p>セキュリティゾーンの設置 <9.1.3(a)> ※ 下表による</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>室名</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>更衣室</td> <td>※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>洗浄室</td> <td>※ エアシャワー(温水シャワー)</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>前室</td> <td>※ 高性能真空掃除機 ※ 使用済み保護衣保管かご</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。</p> <p>除去物及び汚染等 <9.1.3(b)> 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化</p>	※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重	※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等	適用	室名	状態	※	更衣室	※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備	※	洗浄室	※ エアシャワー(温水シャワー)	※	前室	※ 高性能真空掃除機 ※ 使用済み保護衣保管かご	<p>4. アスベスト含有保温材等の除去 <9.1.4(a)> アスベスト含有保温材の除去工事 ・ 行う (適用範囲・図示) ・ 行わない</p> <p>養生等 <9.1.4(b)> ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破碎、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う…この場合は改修標準<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」によること。</p> <p>除去工法 <9.1.4(c)> ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については改修標準<9.1.3(b)>により、密封処理とする。</p> <p>アスベスト含有成形板の除去工事 <9.1.5(a)> ・ 行う (適用範囲・図示) ・ 行わない</p> <p>養生 <9.1.5(b)> ※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。</p> <p>除去工法 <9.1.5(b)> ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破壊されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。</p>	<p>7. 特定物質 [7.3.1] 分析調査 ・ 行う (対象は図示による) ・ 行わない</p> <p>特殊な建築副産物の処理 [7.3.2] ・ フロン回収 破壊処理 対象機器 ()</p> <p>ハロン回収 [7.3.2] ・ ハロン回収 対象機器 ()</p>																		
		材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																																																																			
	・ (試料数:)	・ (試料数:)																																																																																																																																																																																																					
	・ (試料数:)	・ (試料数:)																																																																																																																																																																																																					
	・ (試料数:)	・ (試料数:)																																																																																																																																																																																																					
	・ (試料数:)	・ (試料数:)																																																																																																																																																																																																					
適用名称	測定時期	測定場所	測定点	室名等																																																																																																																																																																																																			
測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
測定4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※ 1点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 1点	点																																																																																																																																																																																																			
測定5		負圧・粉じん装置の排出口 (除じん装置の性能確認)	※ 1点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 1点	点																																																																																																																																																																																																			
測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
測定7	処理作業後 シート撤去前	処理作業室内	※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
測定9	処理作業後 シート撤去後	処理作業室内	※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
			※ 2点	点																																																																																																																																																																																																			
測定点総計																																																																																																																																																																																																							
測定点	測定1	測定2	測定3	測定4	測定5	測定6	測定7	測定8	測定9																																																																																																																																																																																														
設計機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																						
メンブレンフィルタの直径	25mm																																																																																																																																																																																																						
試料の吸引流量	1 L/min	5 L/min	10 L/min	10 L/min	10 L/min	10 L/min	10 L/min	10 L/min	10 L/min																																																																																																																																																																																														
試料の吸引時間	5min	120min	240min	240min	240min	240min	240min	240min	240min																																																																																																																																																																																														
試料の透明化	アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法																																																																																																																																																																																																						
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野																																																																																																																																																																																																						
計数アスベスト	幅3µm未満、長さ5µm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上																																																																																																																																																																																																						
定量限界	50本/L	0.47本/L	0.3本/L	0.3本/L	0.3本/L	0.3本/L	0.3本/L	0.3本/L	0.3本/L																																																																																																																																																																																														
※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重																																																																																																																																																																																																						
※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等																																																																																																																																																																																																						
適用	室名	状態																																																																																																																																																																																																					
※	更衣室	※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備																																																																																																																																																																																																					
※	洗浄室	※ エアシャワー(温水シャワー)																																																																																																																																																																																																					
※	前室	※ 高性能真空掃除機 ※ 使用済み保護衣保管かご																																																																																																																																																																																																					
ア	ス	ベ	ス	ト	含	有	建	材	の	除	去																																																																																																																																																																																												



全体配置図 1/1000



付近見取図

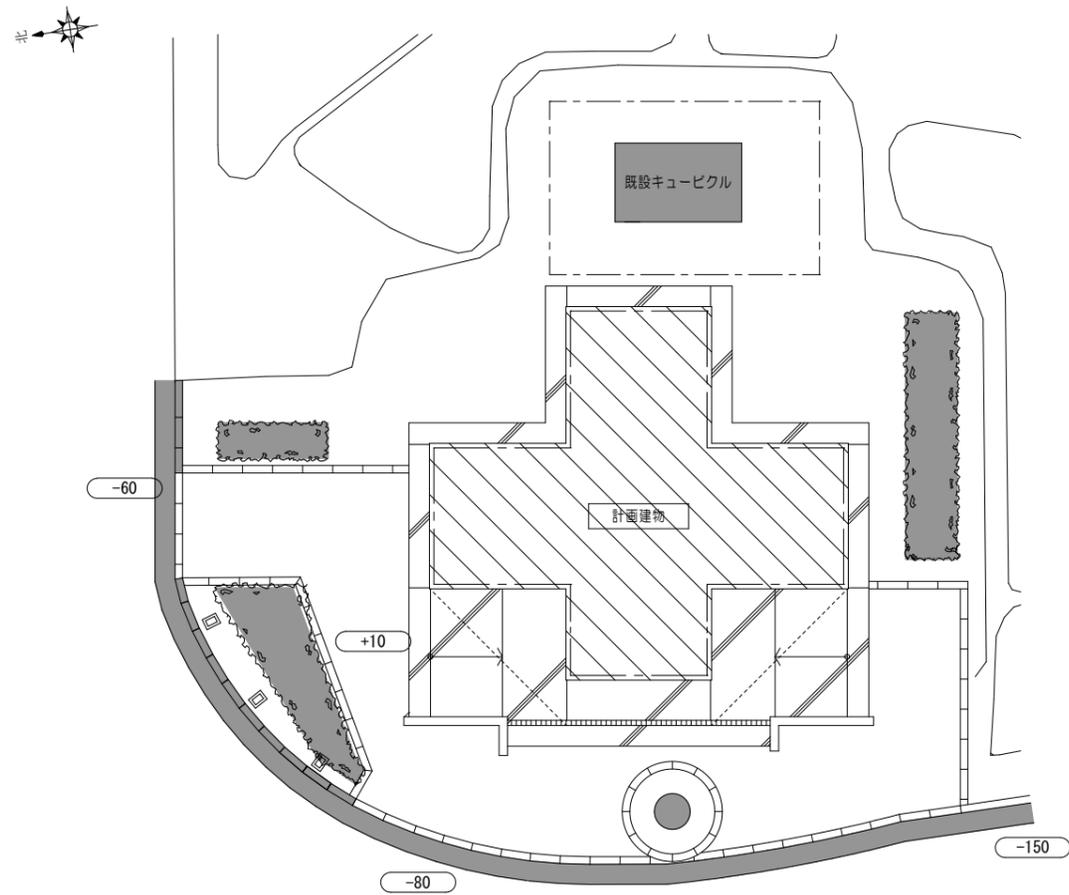
凡例	
	既設建物を示す
	計画建物を示す
	敷地内通路 1.5mを示す
	KBM位置を示す
	地盤レベルを示す (KBM±0より)
※造成行為に該当する全体的な土地の切盛は無し。	

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 **前野建築設計**
 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号
 前田 祐 作

設計年月日	工事名称	西野公園便所(北)建替工事	図面番号	A-12
平成31年 3月 8日	図面名称	全体配置図、付近見取図	縮尺	1/1000



便所 1 配置図 1/100

凡 例	
	既設のままを示す
	計画建物を示す
	地盤レベルを示す (KBM±0より)

特 記 事 項	


 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 **前野建築設計**
 一級建築士 第117489号 前野 初 偉 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号
 前田 祐 作

設計年月日 工事名称 西野公園便所(北)建替工事
 平成31年 3月 8日 図面名称 配置図

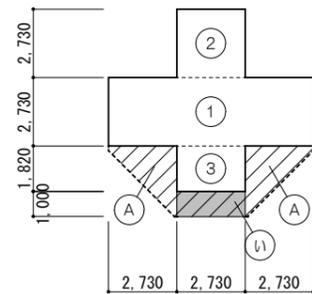
図面番号 A-13
 縮 尺 1/100

設計概要		外部仕上表			主要構造部関係・・・その他			
工事名称	西野公園便所(北)建替工事	屋根	段付横葺屋根 有効幅:228 カラーガルバリウム鋼板A0.4 (ポリエチレンフォームA4.0裏張) アスファルトルーフィング940 野地板:硬質木毛セメント板A18 シナ合板A5.5 CL塗	種	軒 種:塩ビ角型(前高型)W120(カラー) タテ種:硬質塩化ビニル管φ75(カラー)	部 位	使用材料	認定
工事場所	三重県亀山市野村二丁目 地内			軒 天	木組表シ WP塗 化粧ケイカル板A6張(便所1のみ)	屋 根	カラーガルバリウム鋼板	NM-8697
用途地域	第二種住居地域			開口部	アルミサッシ			
防火指定	指定なし	庇	段付ハゼ式横葺屋根 有効幅:182 カラーガルバリウム鋼板A0.4 (ポリエチレンフォームA2.0裏張) アスファルトルーフィング940 野地板:硬質木毛セメント板A18 シナ合板A5.5 CL塗	根廻り	コンクリート打放補修 撥水材塗布 目地@3000内外			
その他	法22条地域、都市計画公園			アプローチ	コンクリート刷毛引			
道路幅員	15.80m			犬走り	コンクリート刷毛引 目地@3000内外			
敷地面積	65,846.84 m ²	外 壁	窯業系サイディングA14 ヨコ張(コーナー役物共) 透湿防水シート張(重ね部分防水テープ張) <内壁> 窯業系サイディングA14 ヨコ張 防湿気密シート張(重ね部分気密テープ張)	ベンチ	木製 WP塗			
主要用途	屋外便所							
工事種別	新築							

内部仕上表(便所1:野球場側)

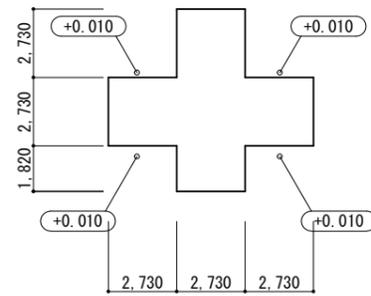
室名	床			巾木			壁(梁下部)			壁(梁上部)			天井			CH	室名札	備考
	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上			
男子便所	F1	土間コンクリート金コテ押工	エポキシ樹脂無溶剤形(厚膜タイプ) (流シのペ工法) 防滑仕様	BB1	床材同仕上	350	W1	木組下地	窯業系サイディングA14 ヨコ張 防湿気密シート張(重ね部分気密テープ張) 抗菌メラミン不燃化粧板A3張 耐水PBA12.5	W3	木組下地	シナ合板A5.5 CL塗	C1		木組表シ OS塗	塩ビ	2,510	○ ビクトサイン
女子便所	F1	土間コンクリート金コテ押工	エポキシ樹脂無溶剤形(厚膜タイプ) (流シのペ工法) 防滑仕様	BB1	床材同仕上	350	W1	木組下地	窯業系サイディングA14 ヨコ張 防湿気密シート張(重ね部分気密テープ張) 抗菌メラミン不燃化粧板A3張 耐水PBA12.5	W3	木組下地	シナ合板A5.5 CL塗	C1		木組表シ OS塗	塩ビ	2,510	○ ビクトサイン
多機能便所	F1	土間コンクリート金コテ押工	エポキシ樹脂無溶剤形(厚膜タイプ) (流シのペ工法) 防滑仕様	BB1	床材同仕上	350	W1	木組下地	窯業系サイディングA14 ヨコ張 防湿気密シート張(重ね部分気密テープ張) 抗菌メラミン不燃化粧板A3張 耐水PBA12.5	W3	木組下地	シナ合板A5.5 CL塗	C2		木組表シ OS塗			○ ビクトサイン

<特記事項>		【仕上記号略号】		【シックハウス対策】		【記号略号】		【防火認定番号】	
・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルムA0.15敷(タテ、ヨコ重ね部分L=200以上とする)	・木材は設計GL+1000の範囲まで防腐防蟻処理(現場塗布)を行うこと。	記号	JIS番号	名称	使用建材:F☆☆☆☆ (天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共)	記号	名称	PB(石膏ボード)A12.5	:NM-8619 <不燃>
・設備機器取付範囲下地材は建築工事とする。	・使用建築材料:特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。	WP	JASS-18 M-307	木材保護塗料	・内部塗料は、F☆☆☆☆品 家具等F☆☆☆☆品	PB	石膏ボード	抗菌メラミン化粧不燃板A3張	:NM-2183 <不燃>
・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。	・木材は三重の木認証工場で加工したものとす。	CL	K5531	クリアラッカー塗	・クロルピリホス使用なし			塗料一般	:NM-8585 <不燃>
	・木材は亀山市産材を使用すること。 ※「亀山市産材」以外の木材を調達しなければならない場合は、その木材の調達理由が明確に判る資料を提出して、監督員とその使用について協議し、承諾を得なければならない。	OS	K5658	オイルステイン塗	・アスベスト使用なし				

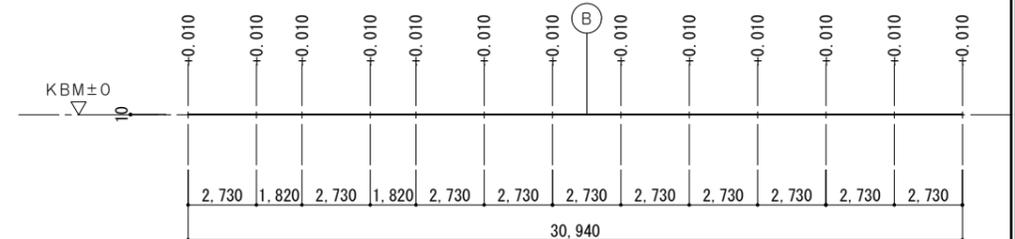


建物求積図 1/200
(便所1:野球場側)

求積表	
①	2.73 × 8.19 = 22.358
②	2.73 × 2.73 = 7.452
③	1.82 × 2.73 = 4.968
A	コンピューターに依る 4.221
I	1.00 × 2.73 = 2.730
面積表	
建築面積	(①+②+③+I)+ (A×2) = 45.95 m ²
延床面積	(①+②+③+I) = 37.51 m ²



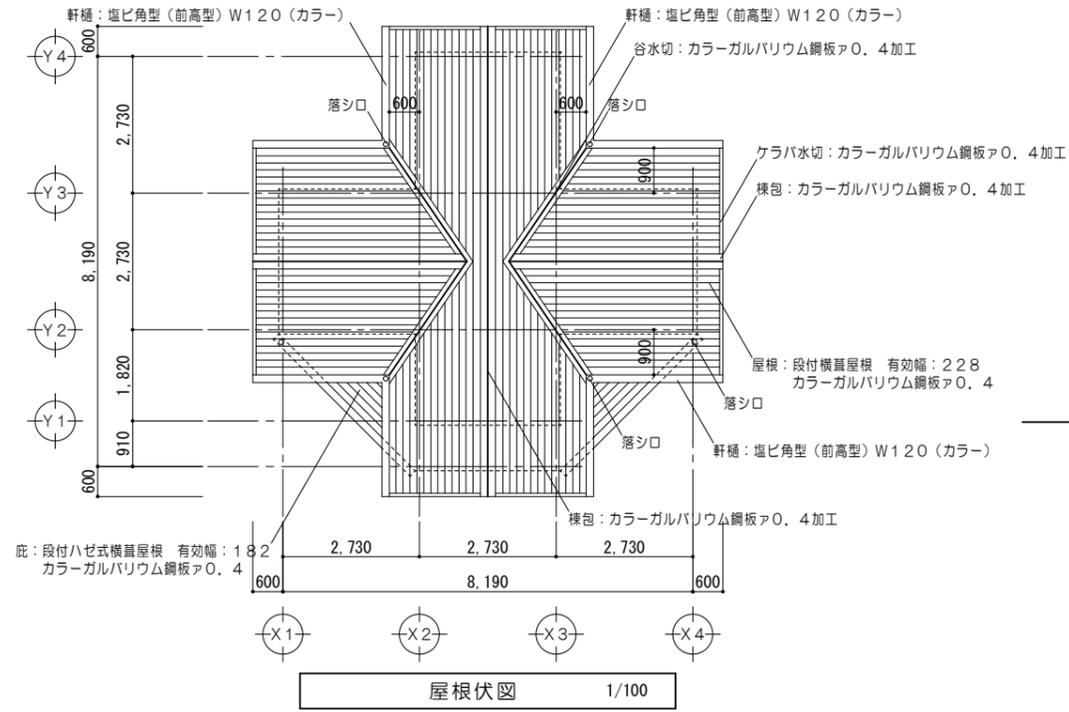
平均地盤面算定図 1/200
(便所1:野球場側)



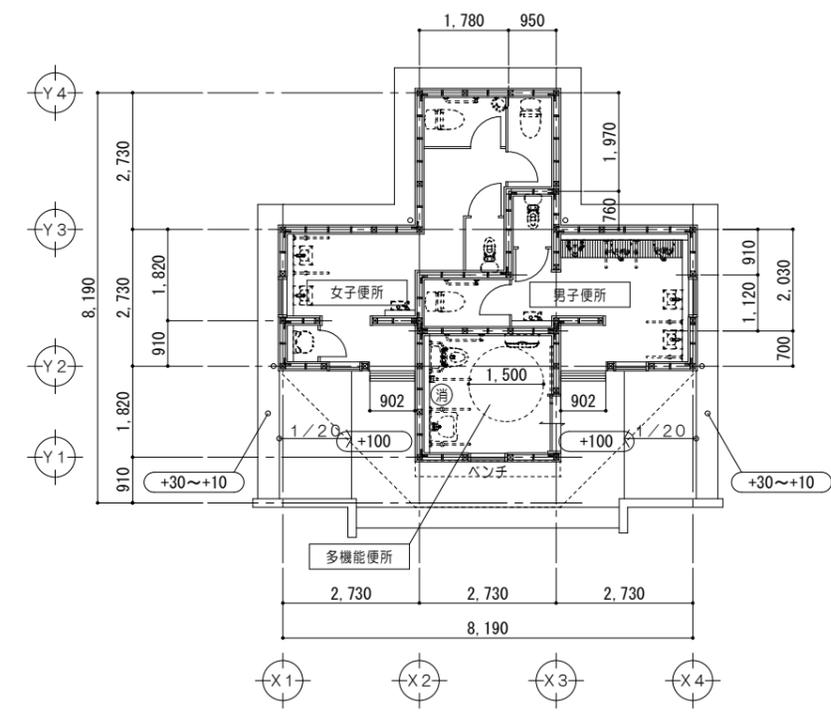
平均地盤面算定根拠図 1/200

平均地盤面算定表	
②	+0.010 × 30.94 = +0.3094
平均地盤面の計算 = 数値の計 / 総長さ	
= +0.3094 / 30.94 = +0.010	
平均地盤高さ = KBM-0.010	

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初 偉	一級建築士 第360917号 前田 祐 作 一級建築士 第320204号 前野 将 輝	設計年月日 工事名称 平成31年 3月 8日 西野公園便所(北)建替工事	図面番号 A-14
			図面名称 外部仕上表、内部仕上表 建物求積図、建物求積表、平均地盤算定根拠	縮尺 NS.1/200



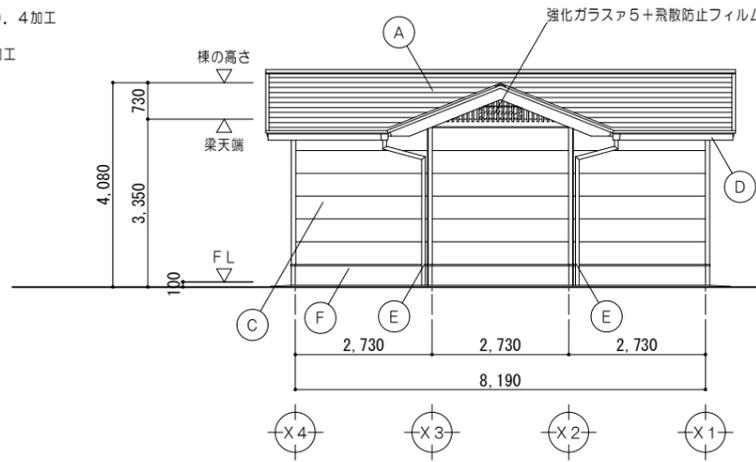
屋根伏図 1/100



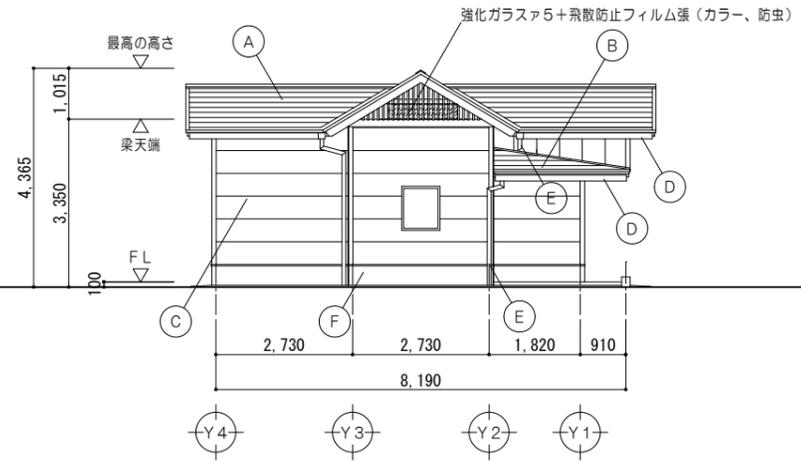
平面図 1/100

凡例	
○	タテ樋を示す
消	消火器(ABC粉末10型)(床置)
±0	設計G.Lからのレベルを示す
	無窓部とする

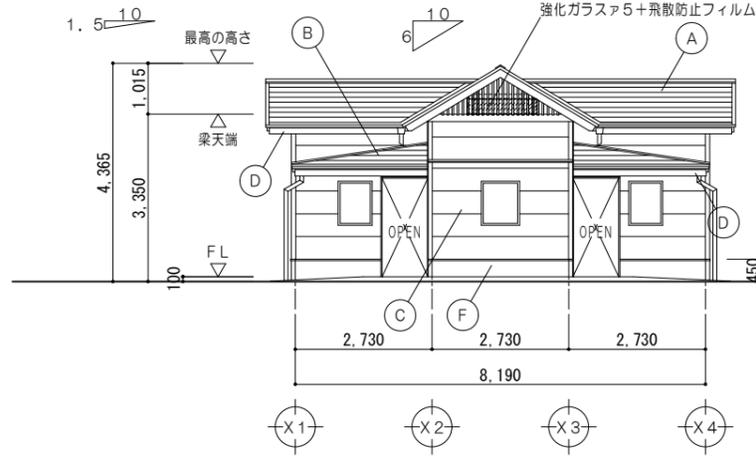
凡例			
(A)	屋根: 段付横葺屋根 有効幅: 2.28	(C)	外壁: 窯業系サイディングφ14 ヨコ張 (コーナー役物共)
(B)	庇: 段付ハゼ式横葺屋根 有効幅: 1.82	(D)	軒樋: 塩ビ角型(前高型) W120 (カラー)
(E)	タテ樋: 硬質塩化ビニルφ75 (カラー)	(F)	根廻り: コンクリート打放補修



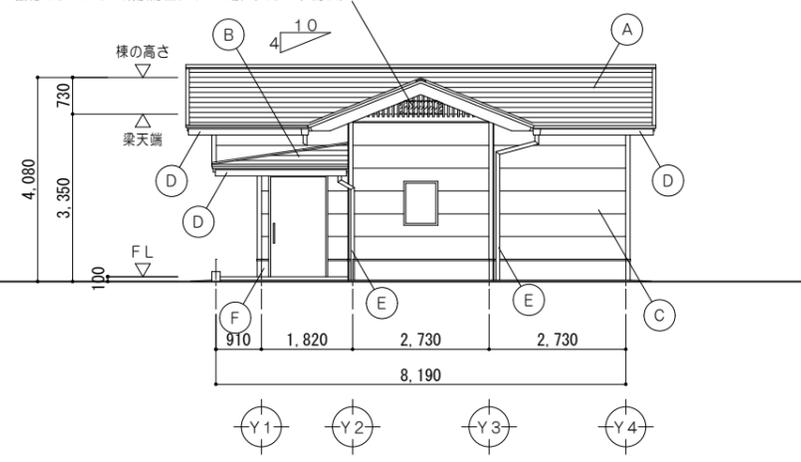
東面立面図 1/100



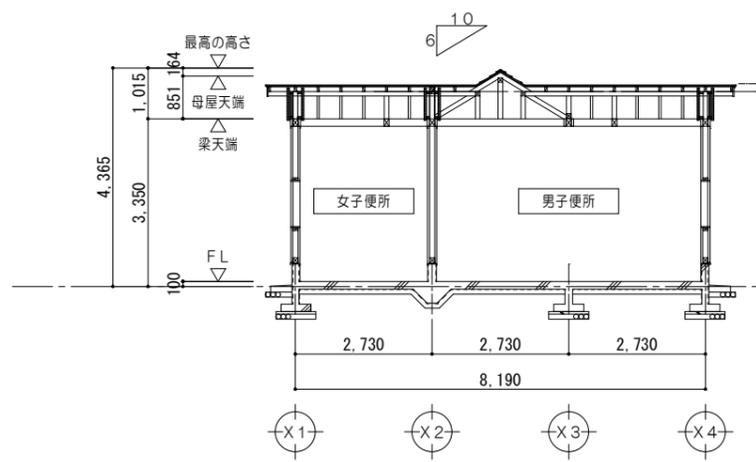
北面立面図 1/100



西面立面図 1/100



南面立面図 1/100



断面図 1/100

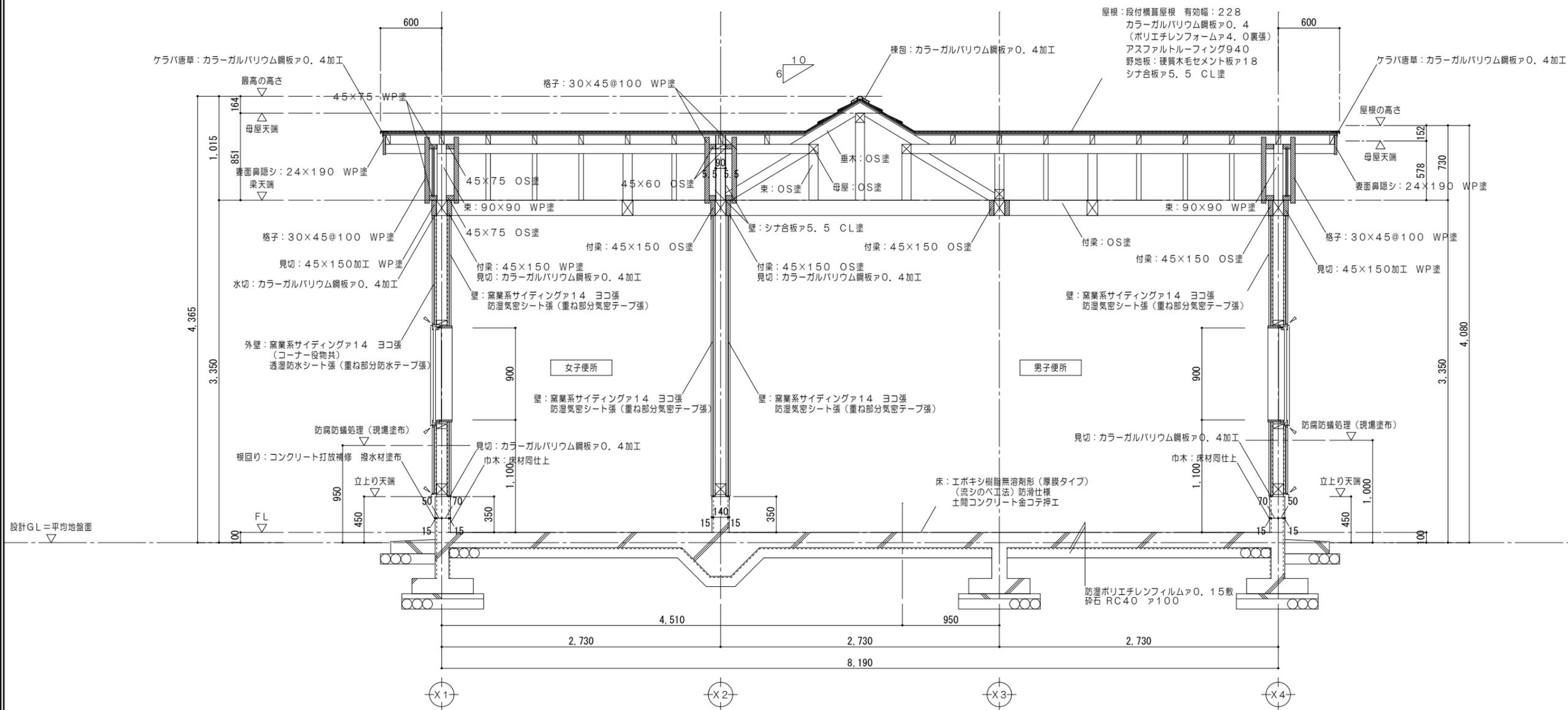
特記事項	
------	--

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号
 前田 祐 作

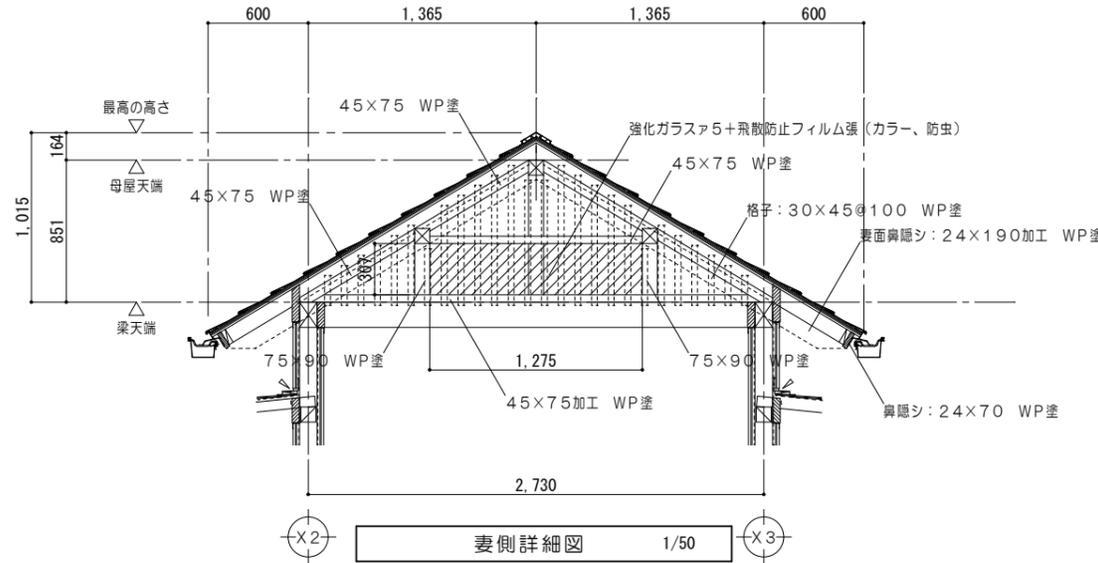
設計年月日	工事名称	西野公園便所(北) 建替工事
平成31年 3月 8日	図面名称	【便所1】平面図、立面図、断面図

図面番号	A-15
縮尺	1/100

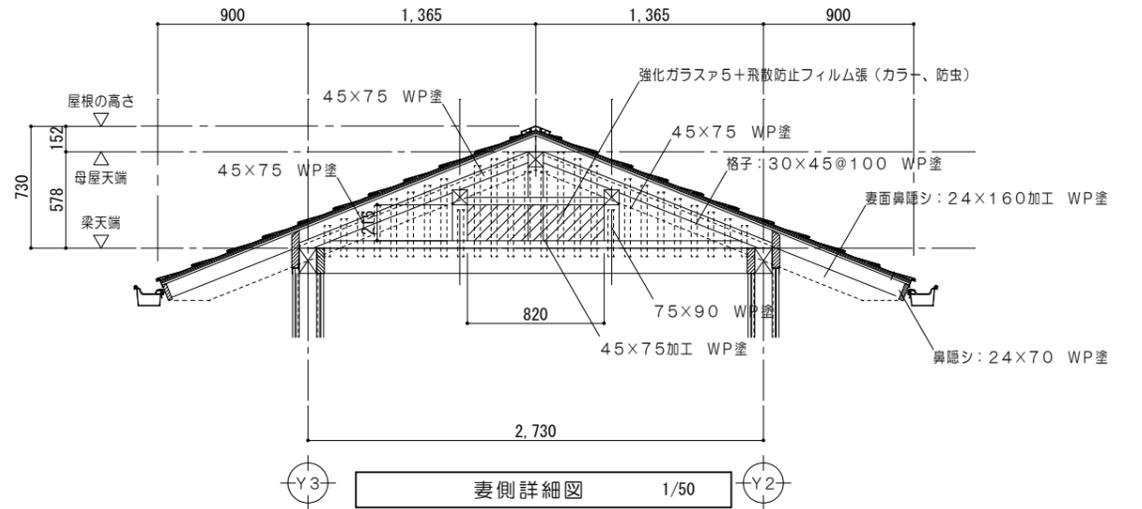


矩計図 1/30

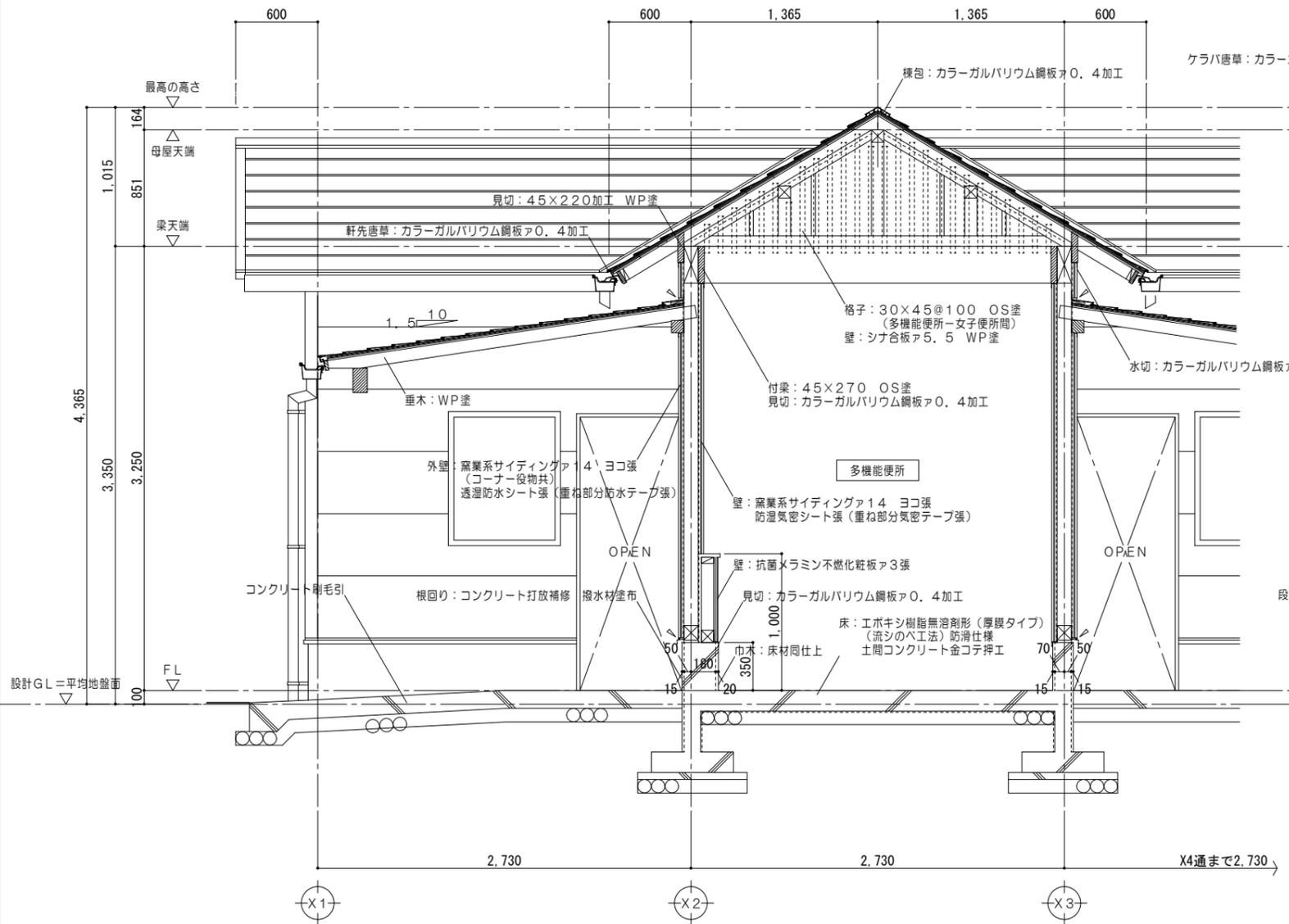
特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計年月日	工事名称	西野公園便所(北)建替工事	図面番号	A-16
	一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝		平成31年 3月 8日	図面名称	【便所1】矩計図	縮尺	1/30



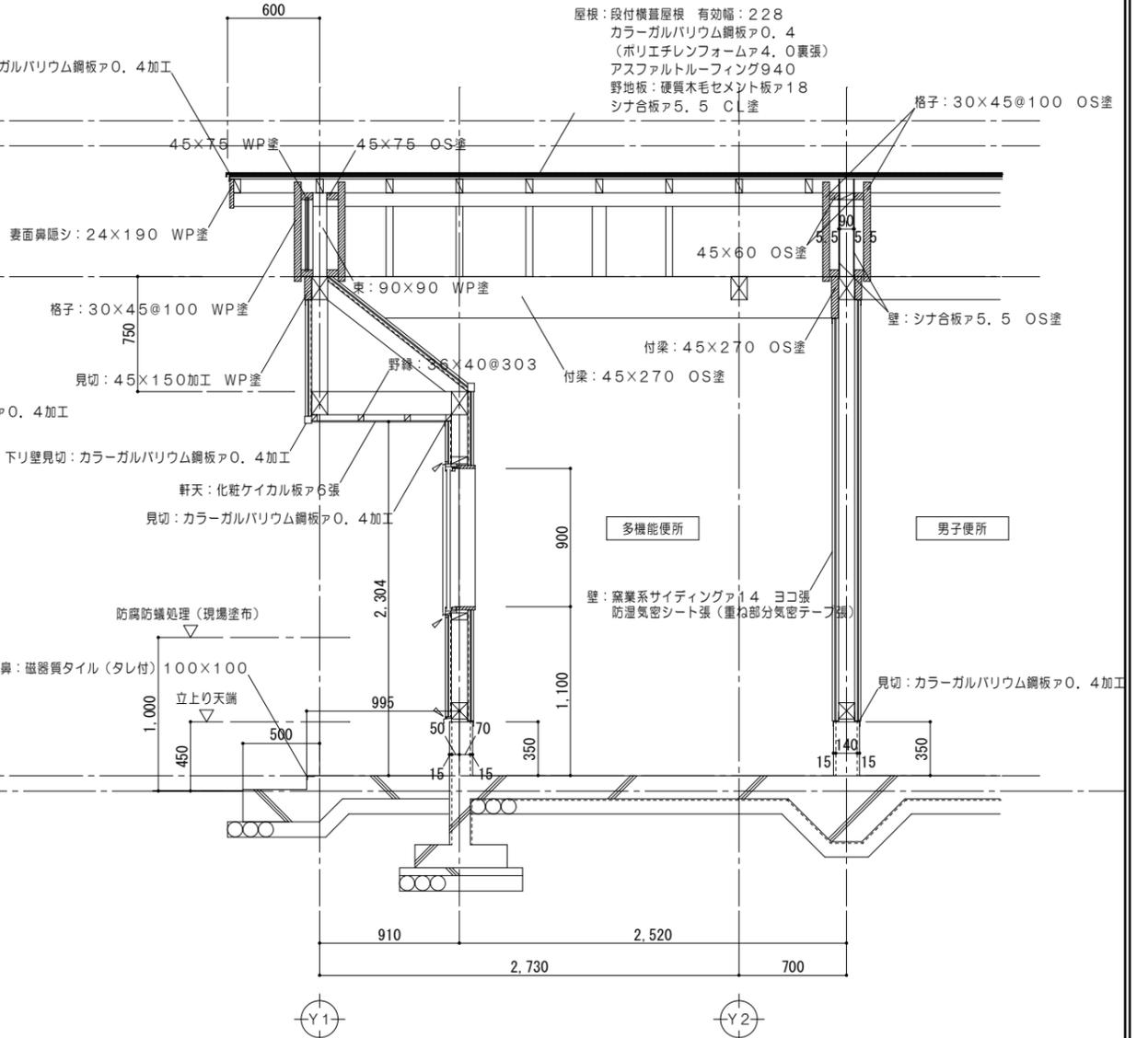
妻側詳細図 1/50



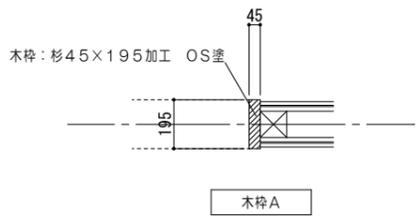
妻側詳細図 1/50



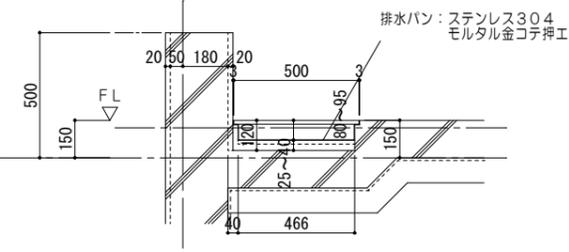
断面詳細図 1/50



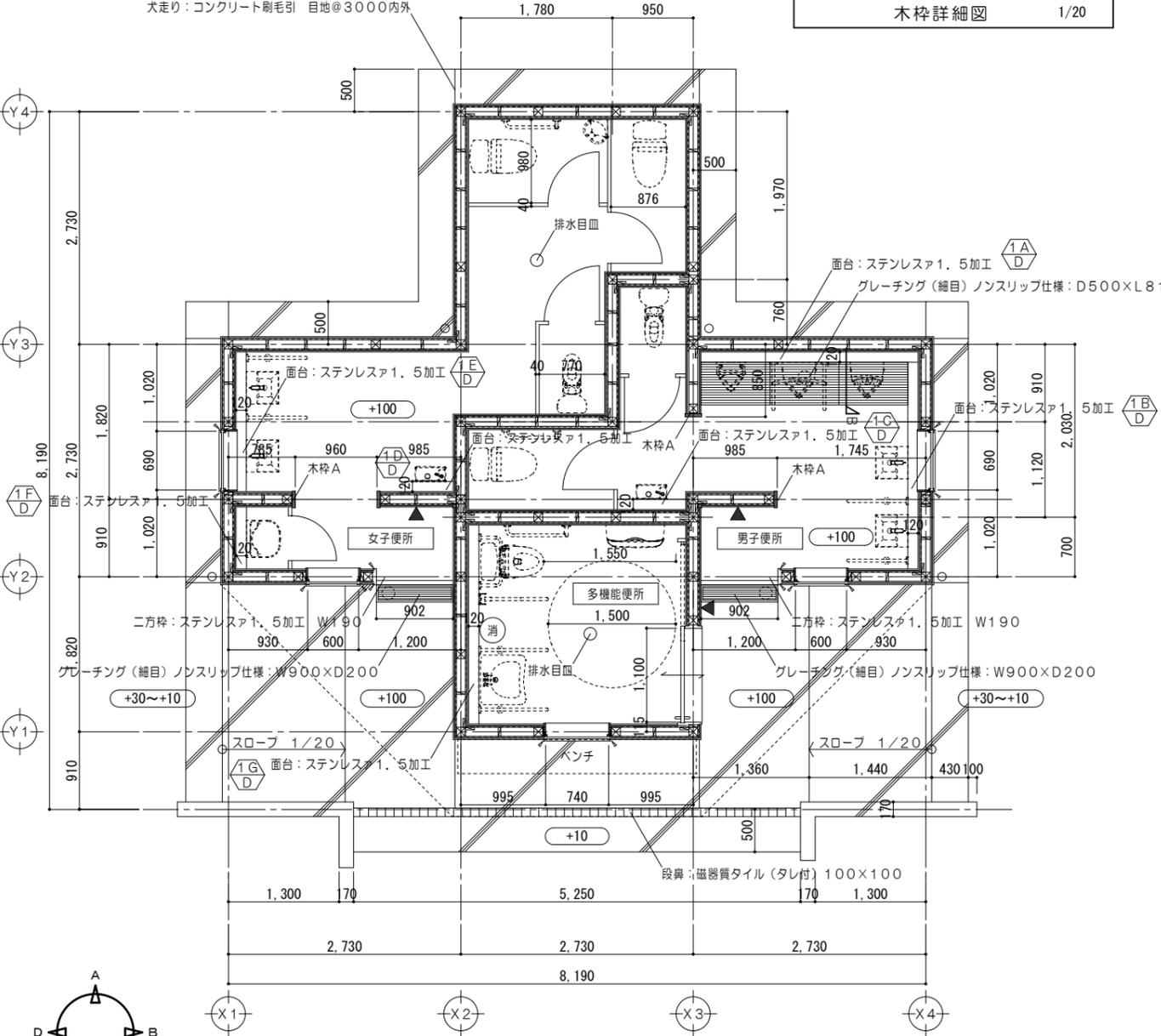
特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計年月日 工事名称 西野公園便所(北) 建替工事	図面番号 A-17
	一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝		平成31年 3月 8日 図面名称 【便所1】 断面詳細図	縮尺 1/30



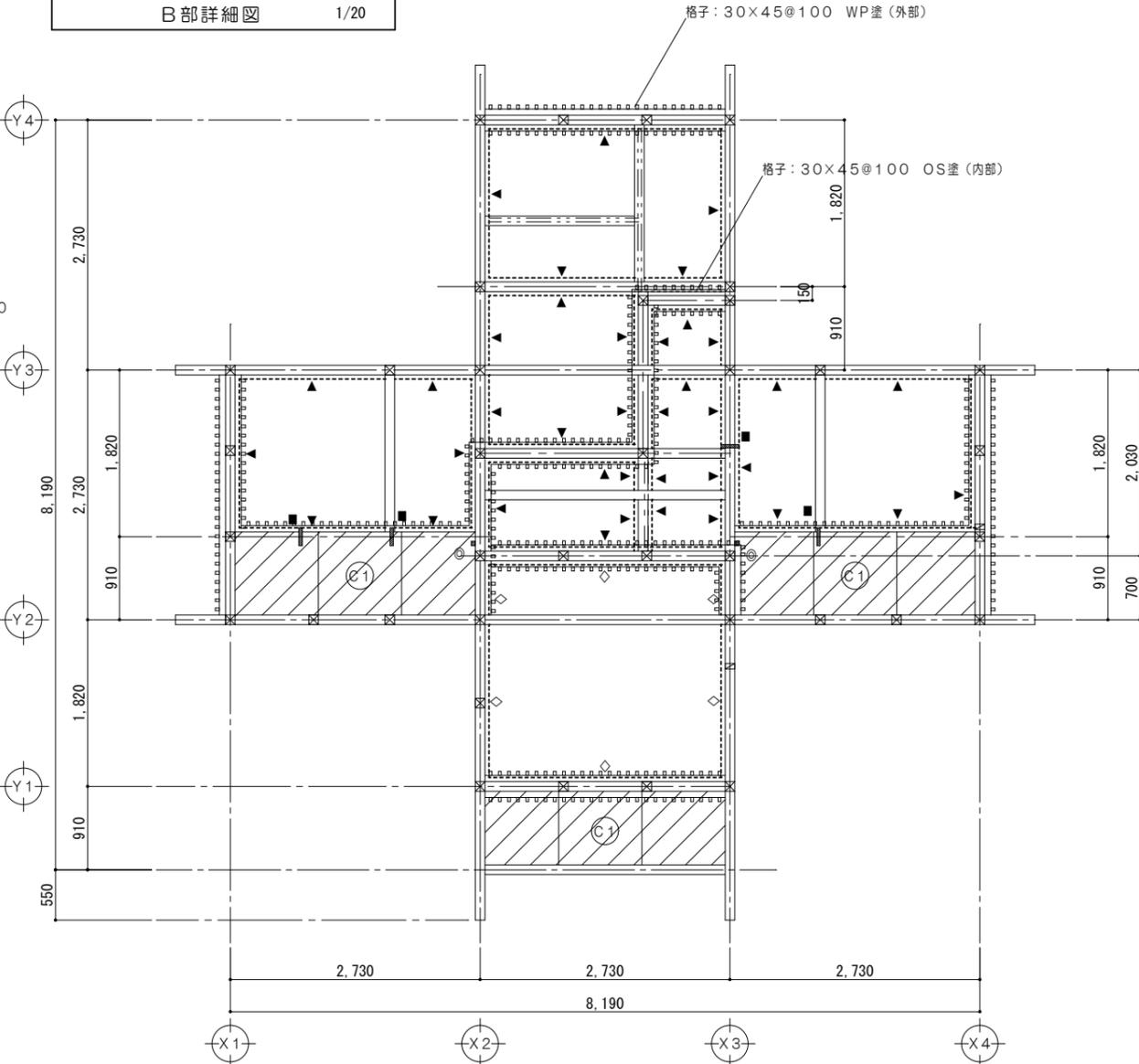
木枠A 1/20



B部詳細図 1/20



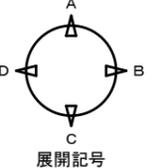
便所1平面詳細図 1/50



天井伏図 1/50

凡例	
±0	設計GLからのレベルを示す
消	消火器(ABC粉末10型)(床置) ※消火器本体は別途
ノ	シーリングを示す
▲	ピクトサイン設置場所

凡例			
▼	付梁: 45x150 OS塗	■	木枠: A部詳細図参照
◎	付柱: 45x45 OS塗	◇	付梁: 45x270 OS塗
		○C1	化粧ケイカル板α6張



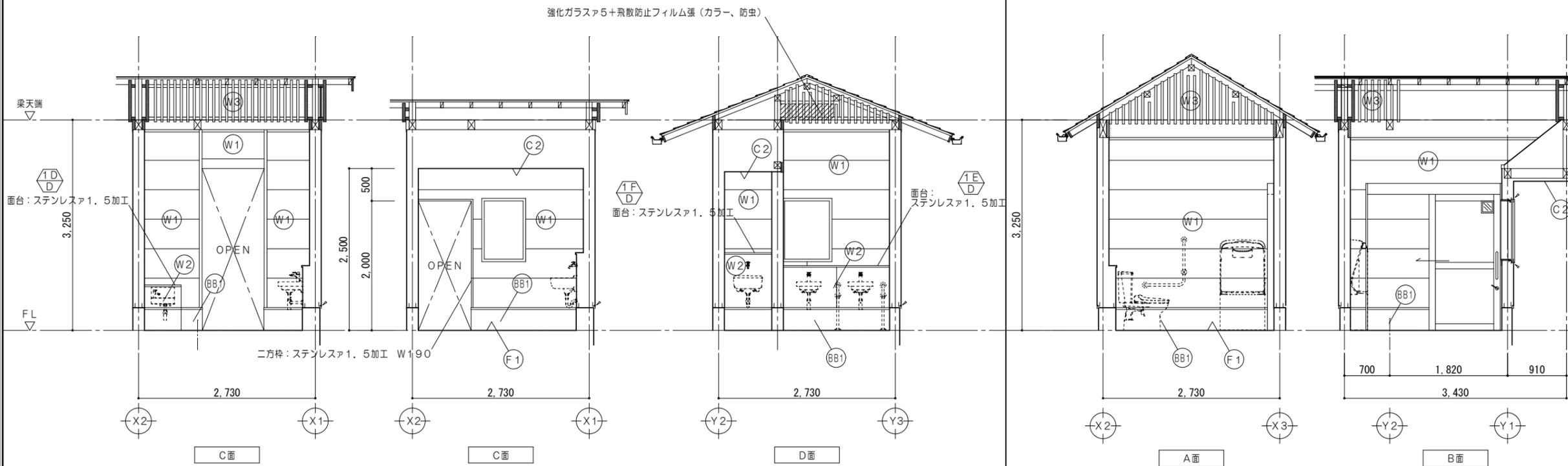
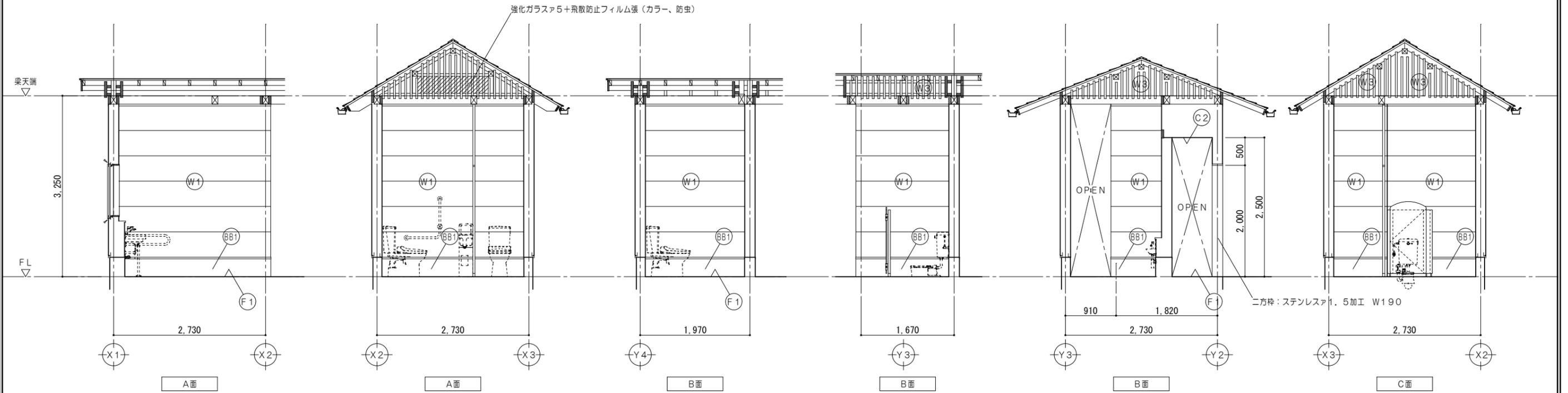
特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号 前田 祐 作

設計年月日 工事名称 西野公園便所(北)建替工事
平成31年 3月 8日 図面名称 【便所1】平面詳細図、天井伏図

図面番号 A-18
縮尺 1/50.20



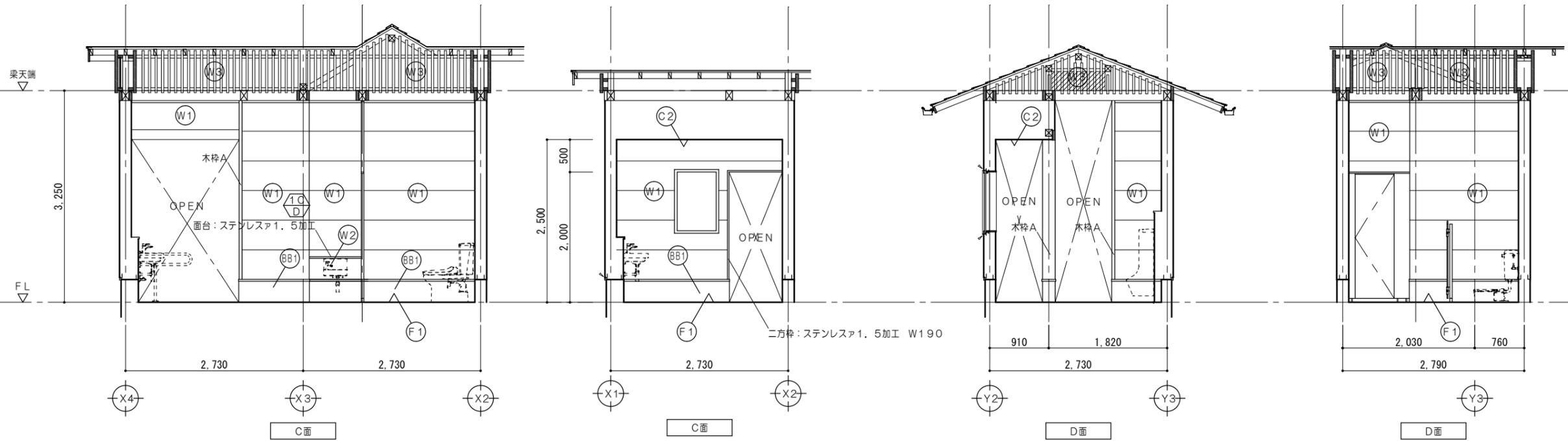
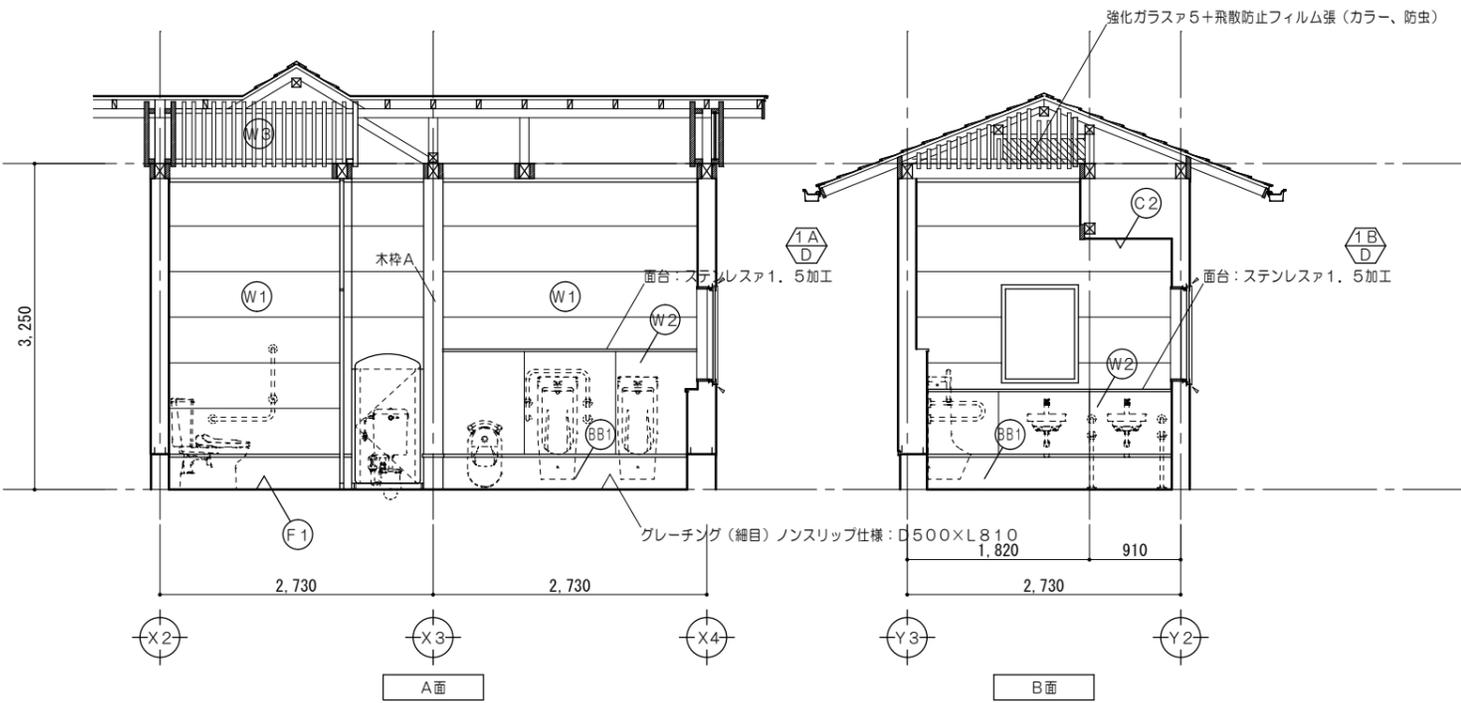
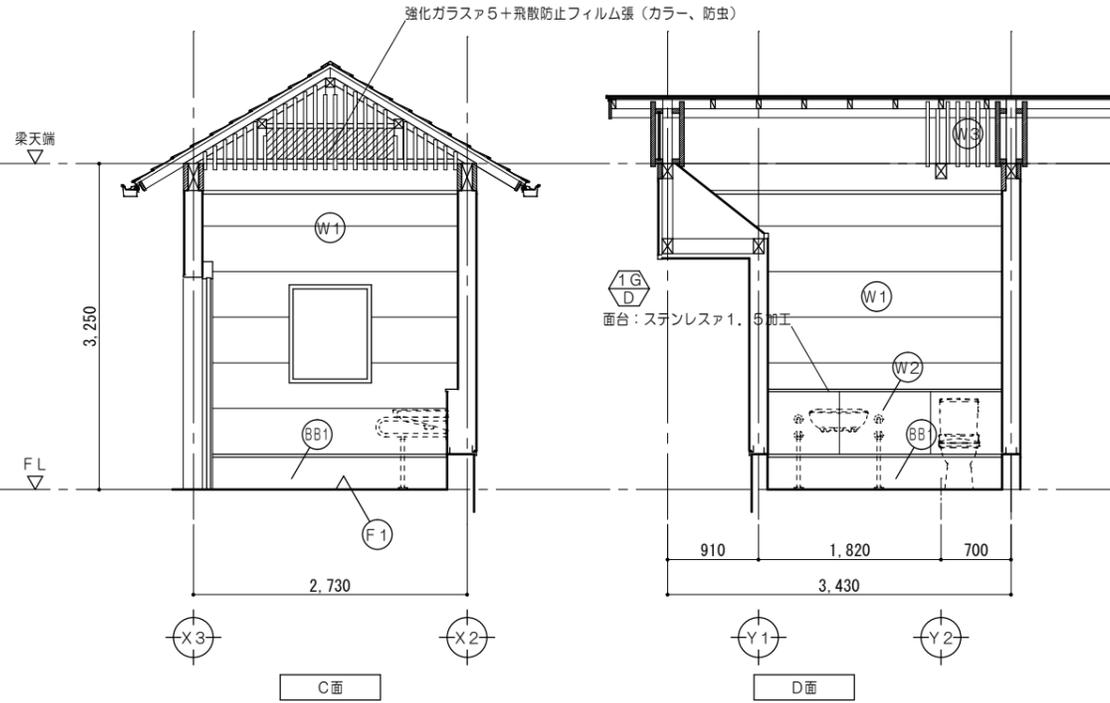
仕上凡例	
(F1)	エポキシ樹脂無溶剤形(厚膜タイプ) (流シのバ工法) 防滑仕様 土間コンクリート金コテ押工
(BB1)	床材同仕上 H350
(W1)	窯業系サイディング14 ヨコ張 防湿気密シート張(重ね部分気密テープ張)
(W2)	抗菌メラミン不燃化粧板3張 耐水PBA12.5 木組下地 設備用合板12
(W3)	シナ合板5.5 CL塗 木組下地
(C1)	木組表シ OS塗
(C2)	化粧ケイカル板6張 木組下地

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 **前野建築設計**
 一級建築士 第117489号 前野 初 偉 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作

設計年月日	工事名称	西野公園便所(北) 建替工事	図面番号	A-19
平成31年 3月 8日	図面名称	【便所1】展開図No.1	縮尺	1/50



仕上凡例	
(F1)	エポキシ樹脂無溶剤形 (厚膜タイプ) (流シのべ工法) 防滑仕様 土間コンクリート金コテ押工
(BB1)	床材同仕上 H350
(W1)	窯業系サイディングA14 ヨコ張 防湿気密シート張 (重ね部分気密テープ張)
(W2)	抗菌メラミン不燃化粧板A3張 耐水PBA12.5 木組下地 設備用合板A12
(W3)	シタ合板A5.5 CL塗 木組下地
(C1)	木組表シ OS塗
(C2)	化粧ケイカル板A6張 木組下地

特記事項	
------	--

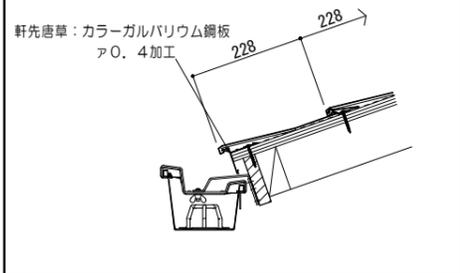
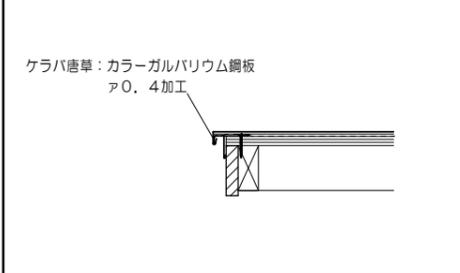
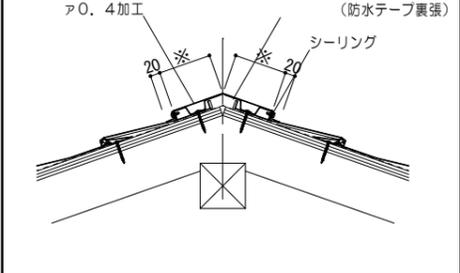
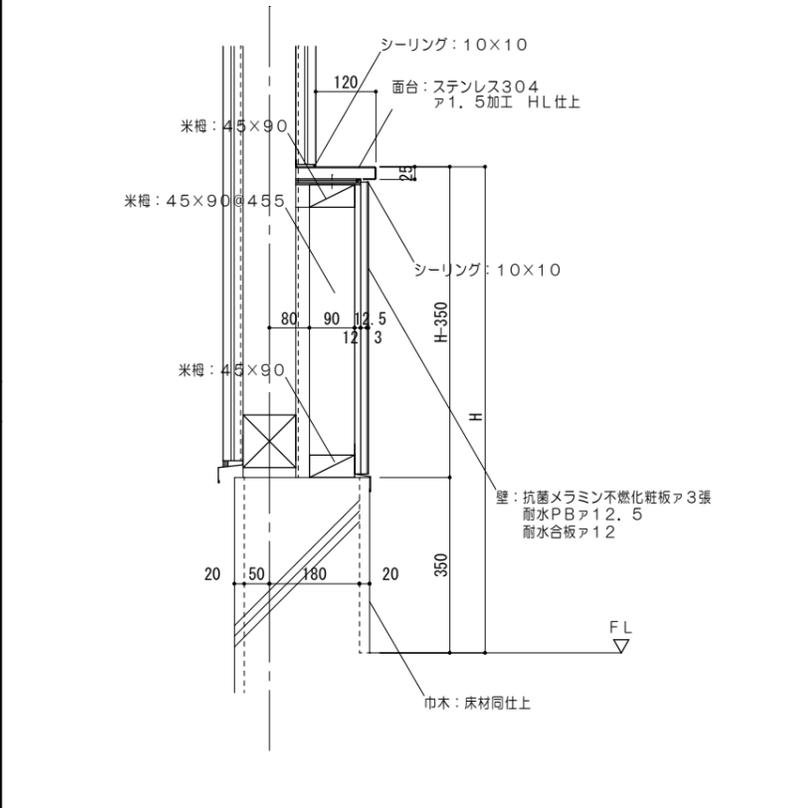
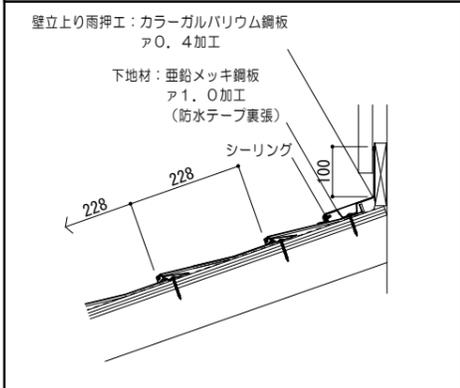
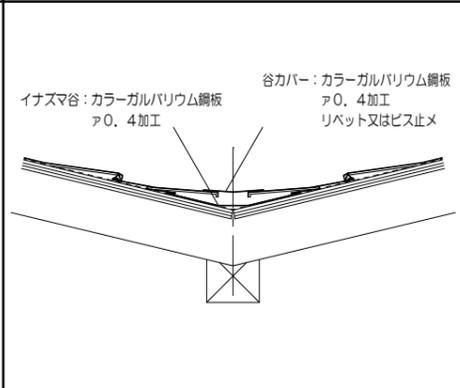
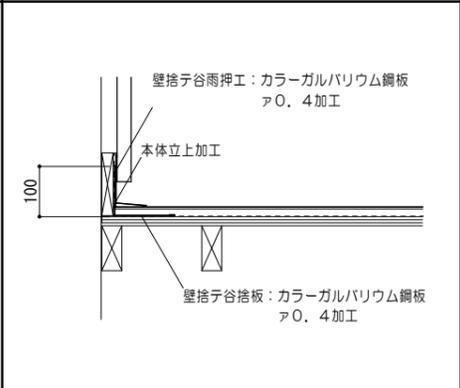
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 **前野建築設計**
 一級建築士 第117489号 前野 初 像 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作

設計年月日	工事名称	西野公園便所(北) 建替工事	図面番号	A-20
平成31年 3月 8日	図面名称	【便所1】展開図No.2	縮尺	1/50

各部詳細図

1/10

<p>軒先断面図</p> 	<p>ケラバ断面図</p> 	<p>棟断面図</p> 	<p>面台詳細図</p> 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>室名</th> <th>D</th> <th>W</th> <th>H</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1A/D</td> <td>男子便所</td> <td>120</td> <td>2,550</td> <td>1,400</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1B/D</td> <td>男子便所</td> <td>120</td> <td>2,480</td> <td>1,000</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1C/D</td> <td>男子便所</td> <td>120</td> <td>800</td> <td>900</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1D/D</td> <td>女子便所</td> <td>120</td> <td>600</td> <td>900</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1E/D</td> <td>女子便所</td> <td>120</td> <td>1,640</td> <td>1,000</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F/D</td> <td>女子便所</td> <td>120</td> <td>730</td> <td>1,200</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1G/D</td> <td>多機能便所</td> <td>120</td> <td>2,550</td> <td>1,000</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	記号	室名	D	W	H	数量	1A/D	男子便所	120	2,550	1,400	1	1B/D	男子便所	120	2,480	1,000	1	1C/D	男子便所	120	800	900	1	1D/D	女子便所	120	600	900	1	1E/D	女子便所	120	1,640	1,000	1	1F/D	女子便所	120	730	1,200	1	1G/D	多機能便所	120	2,550	1,000	1
記号	室名	D	W	H	数量																																															
1A/D	男子便所	120	2,550	1,400	1																																															
1B/D	男子便所	120	2,480	1,000	1																																															
1C/D	男子便所	120	800	900	1																																															
1D/D	女子便所	120	600	900	1																																															
1E/D	女子便所	120	1,640	1,000	1																																															
1F/D	女子便所	120	730	1,200	1																																															
1G/D	多機能便所	120	2,550	1,000	1																																															
<p>壁立上り断面図</p> 	<p>谷断面図</p> 	<p>壁捨テ谷断面図</p> 																																																		

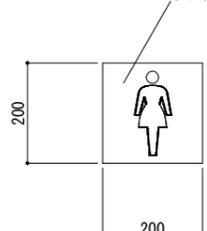
2/D ピクトサイン（平付）詳細図 1/30

3/D ベンチ詳細図 1/30

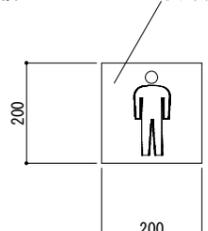
平面図



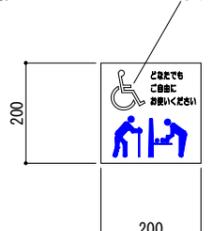
UV印刷（赤）



UV印刷（青）



UV印刷



姿図



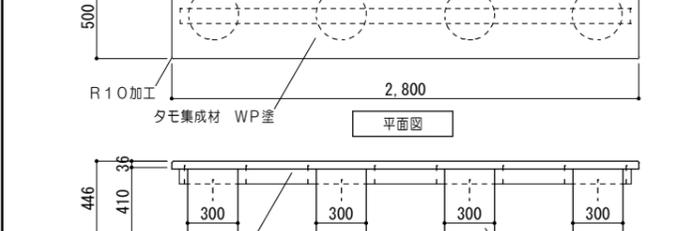
【各2箇所】

※基材：SUS304ア0.5 HL
※表示：UV印刷

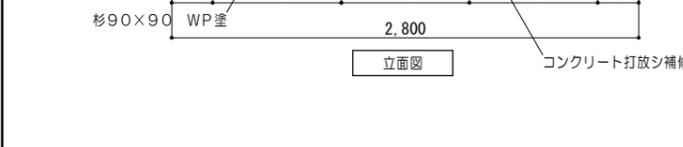
便所1 【1箇所】

便所1 【1箇所】

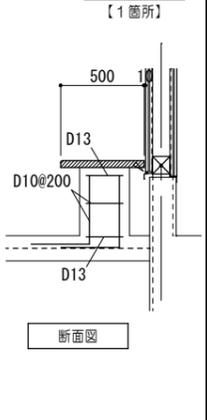
平面図

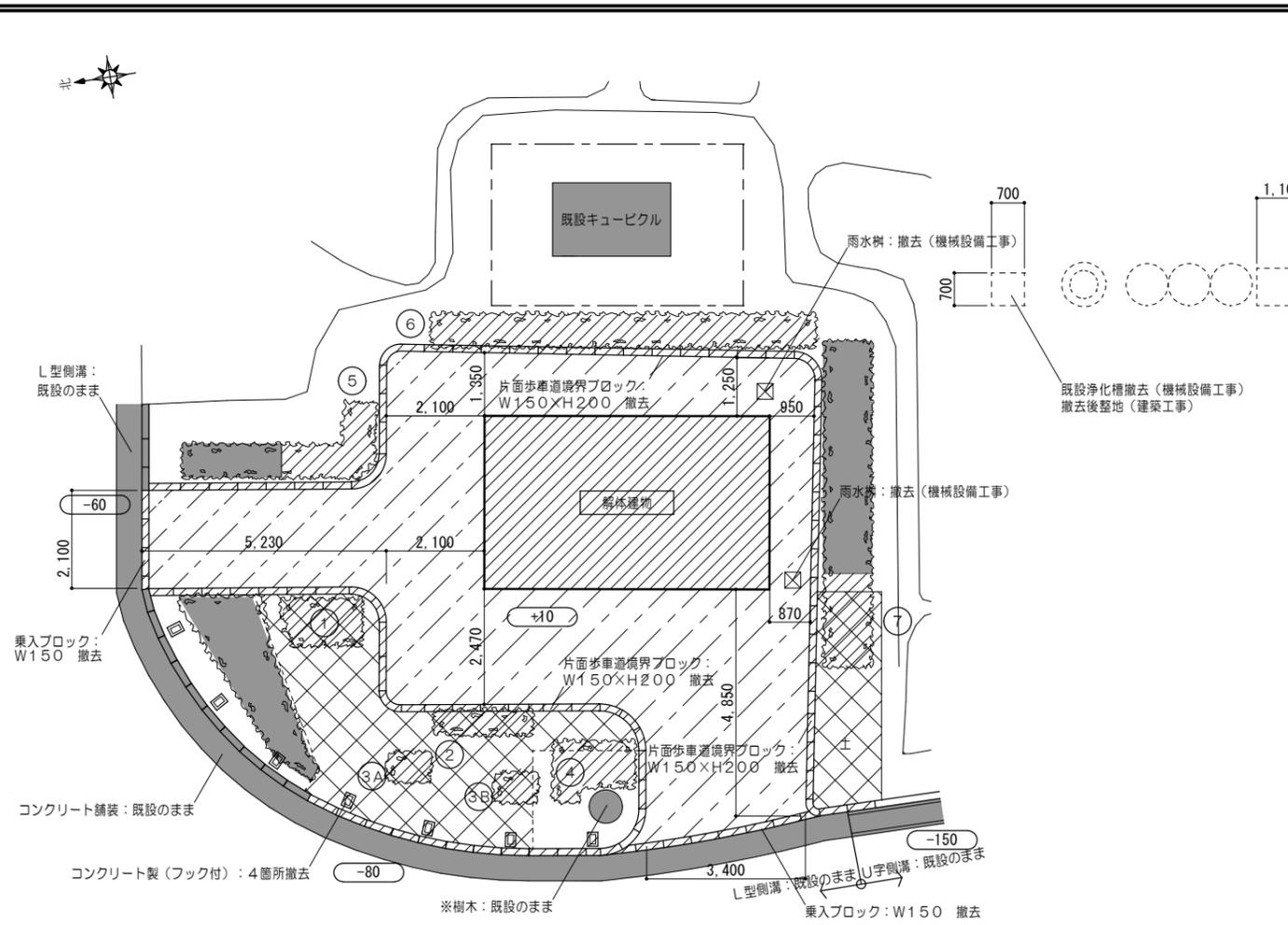


立面図



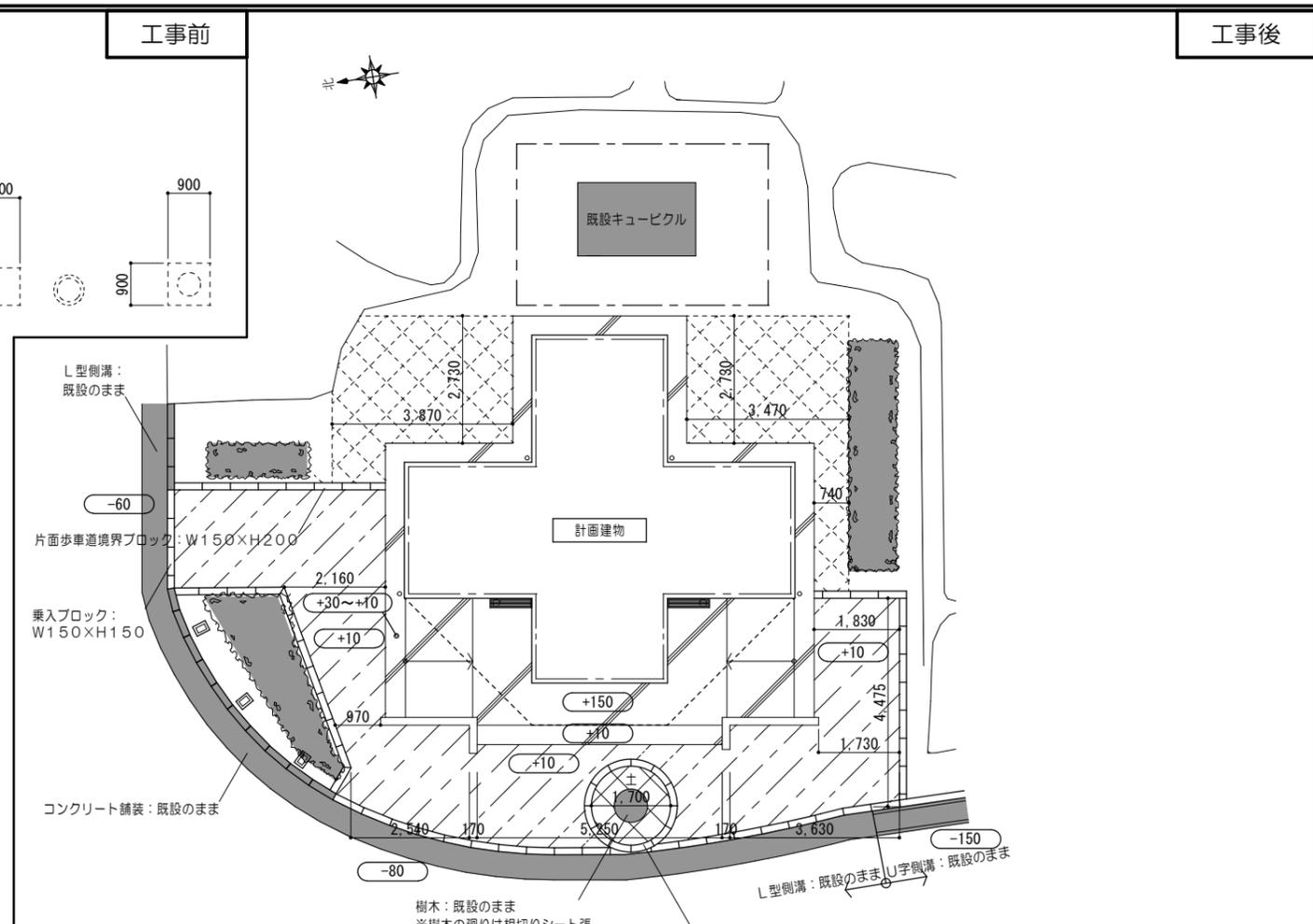
断面図





工事前

工事後



便所1外構図 1/100

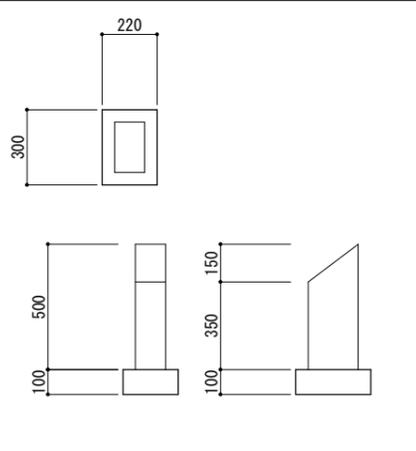
便所1外構図 1/100

撤去生垣 (mm)							
記号	L	D	H	記号	L	D	H
①	1300	1200	1100	④	2200	1650	900
②	2100	750	850	⑤	3375	500	750
③A	2000	500	800	⑥	8500	650	700
③B	2000	500	800	⑦	2000	650	850

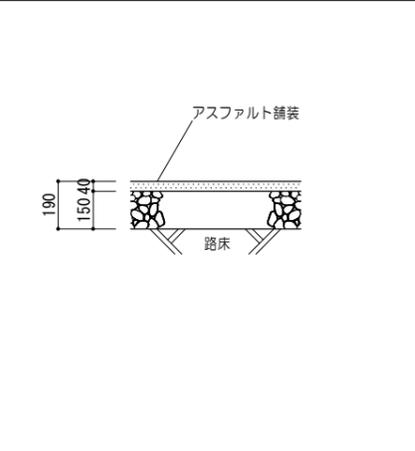
凡例	
	アスファルト舗装撤去範囲を示す
	土撤去範囲を示す
	撤去範囲を示す
	既設のままを示す
※	新築建物の基礎に樹木の根が干渉した場合、監督員と協議し、根などの対処を行うこと

凡例	
	整地を示す
	アスファルト舗装を示す
	土範囲を示す
	犬走り・スロープ範囲を示す
	既設のままを示す

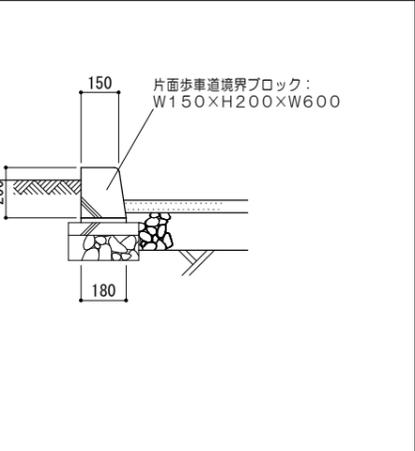
コンクリート製 (フック付) 1/20



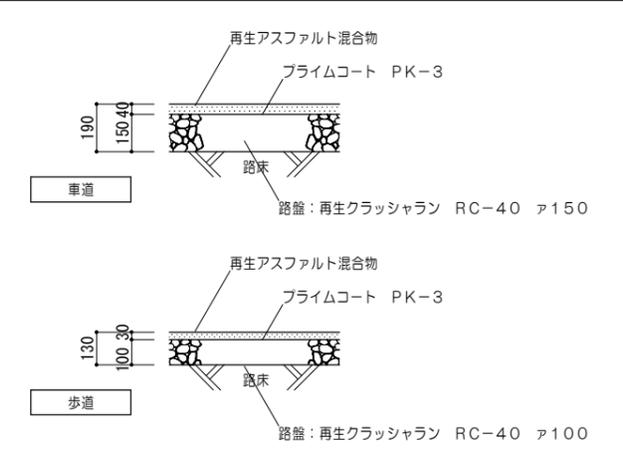
アスファルト舗装詳細図 1/20



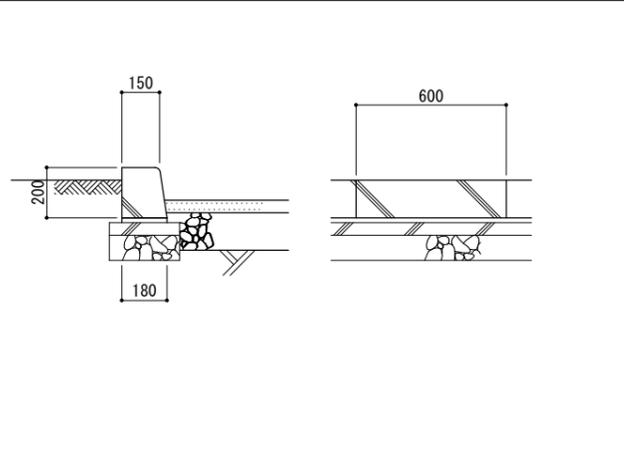
縁石 1/20



アスファルト舗装詳細図 1/20



縁石 1/20

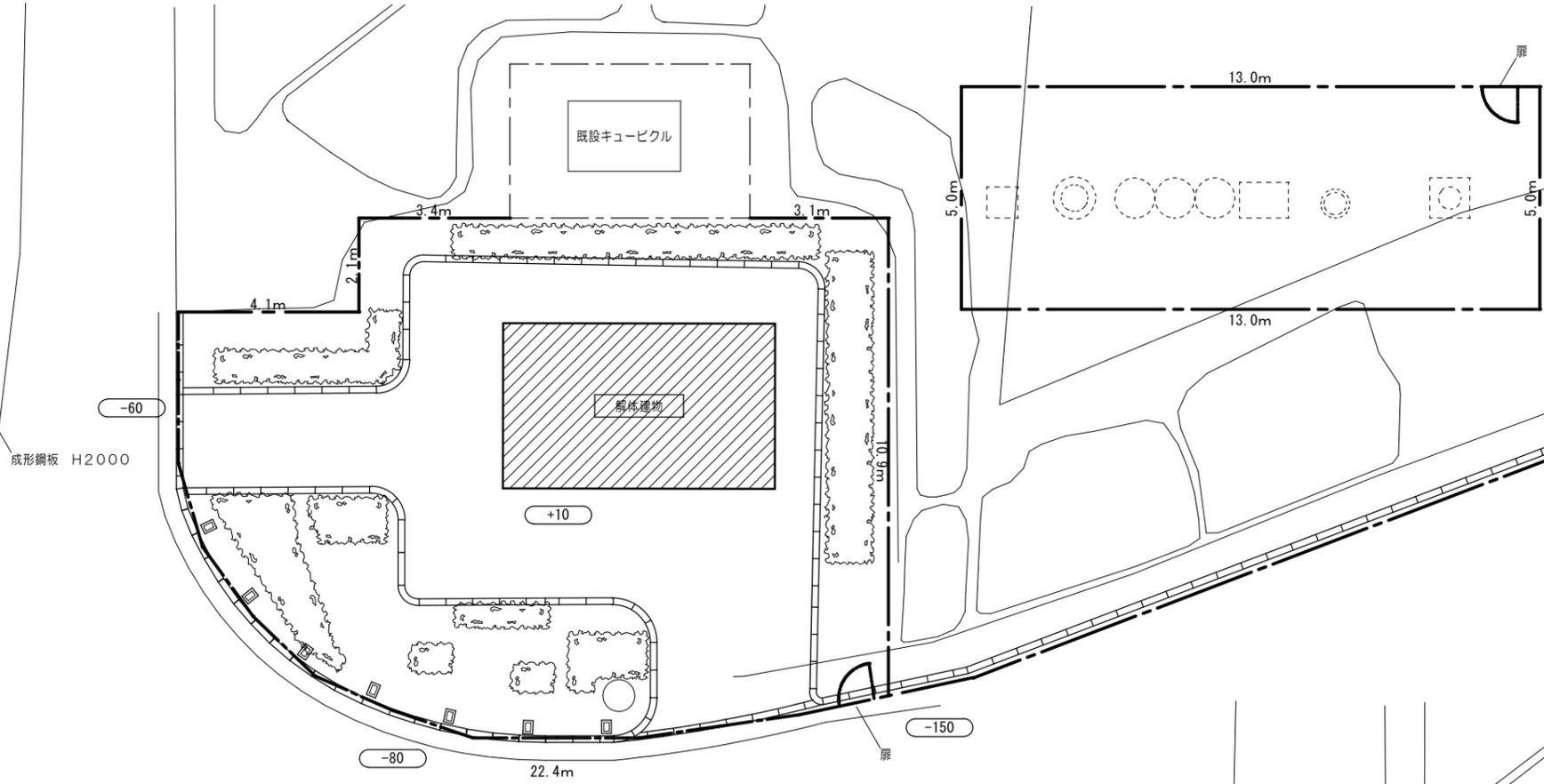
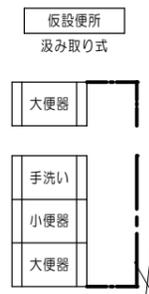


特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

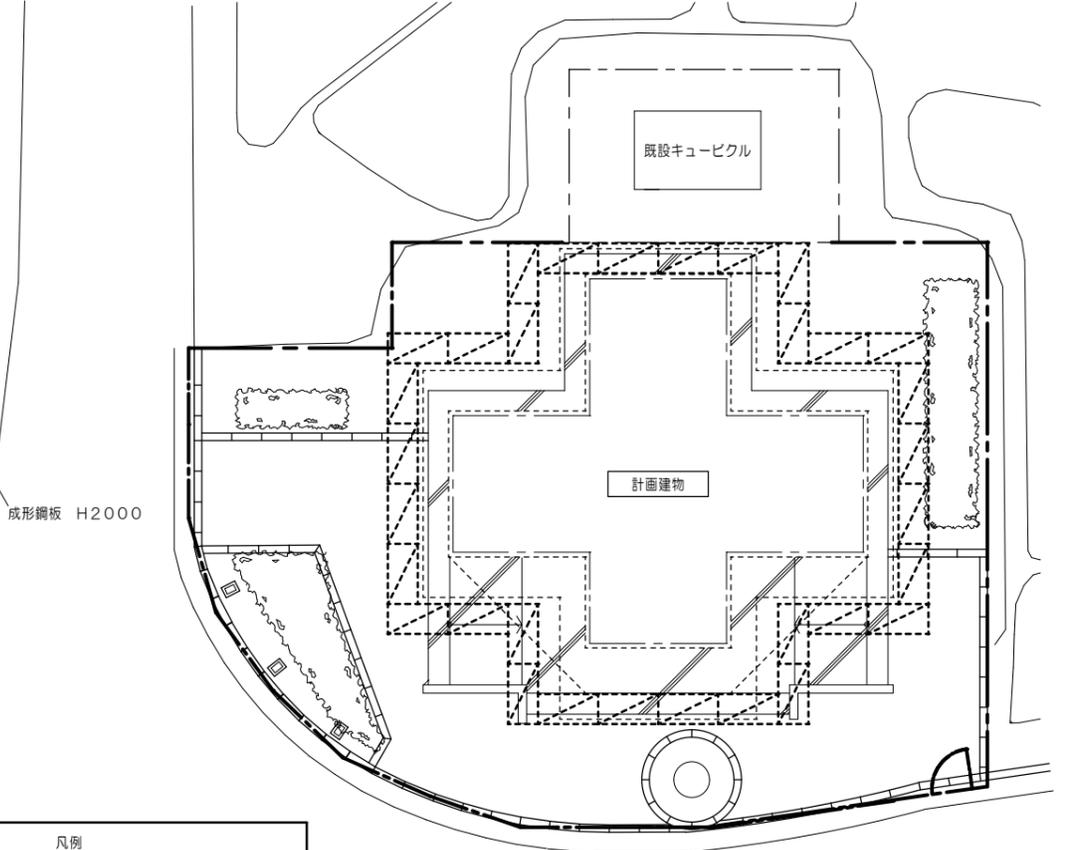
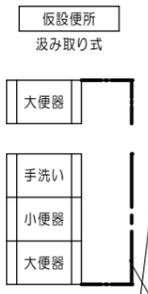
一級建築士 第360917号
前田 祐作

設計年月日	工事名称	西野公園便所 (北) 建替工事	図面番号	A-23
平成31年 3月 8日	図面名称	【便所1】外構図	縮尺	1/20.100



便所 1 仮設図 1/100
(解体時)

凡例	
	仮囲いを示す ガードフェンス H1800



便所 1 仮設図 1/100
(建設時)

凡例	
	足場・・・枠組本足場 建地W=600 シート養生
	交通誘導員配置 交通誘導員は工事車両を工事現場まで誘導すること。

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 **前野建築設計**
一級建築士 第117489号 前野 初 偉 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号
前田 祐 作

設計年月日	工事名称
平成31年 3月 8日	西野公園便所(北)建替工事
図面名称	【便所1】仮設図

図面番号	A-24
縮尺	1/100

